

ボランティア活動に関するアンケート調査
集計結果報告書



平成31年（2019年）3月

東庄町ボランティア連絡協議会

目 次

1 調査の概要	2
2 ボランティア活動に関するアンケート調査結果	
【1】回答者の属性（地区・性別・年代・職業・家族形態）	3
【2】ボランティア活動やイメージについて	6
【3】現在ボランティア活動をしている方への調査	9
【4】以前ボランティア活動をしていた方への調査	14
【5】ボランティア活動をした事がない方への調査	18
【6】ボランティア活動に対する報酬について	21
【7】東庄町ボランティア連絡協議会について	23
【8】東庄町社会福祉協議会について	26
3 調査結果のまとめ	28
ボランティア意識調査 協力団体施設等	29

1 調査の概要

1. 調査の目的

東庄町ボランティア連絡協議会は、昭和59年にスタートしてから今日まで、35年の歴史がある。

スタート当初は、シニアクラブ(旧老人クラブ)と婦人会の団体でこの組織を占め、たくさんの会員仲間で活発な活動を展開していた。しかし、平成18年には婦人会が解散し、シニアクラブ(旧老人クラブ)も高齢化が進み、少しずつクラブ数も会員数も減少し、活動のあり方も変わってきた。婦人会の役員だった人たちで、かつての活動を続けたり、単独のボランティア団体が独自の活動目的で生まれたり、個人で活動したりして、当会の活動に新しい流れが出てきて現在がある。

近年、東庄町は、更に高齢化が進み、高齢化率が36.3%を占めるようになってきた。町民みんなのボランティアがより必要になることは必須である。

そこで、地域活動やボランティア活動をはじめとする社会的な活動に対する東庄町民の意識や活動の現状を把握することで、これからの社会の変化に温かく対応していけるボランティア活動の推進及び支援の充実を図ることを目指して、このアンケートの実施に至った。

2. 調査期間 平成30年8月～9月

3. 調査対象 東庄町に居住する方及び、町内に在る事業所に勤務する町外の方

4. 調査方法 各種団体・官公庁・事業所・各種施設等に配布し回収

5. 回収結果 配布数 2,280件 回収件数 1,513件 回収率 66.4%

アンケートを実施して

平成の終わりを迎えるこの年に、東庄町ボランティア連絡協議会の根幹であるボランティアへの町民や、東庄町で働く多くの方の意識調査が実施できたことは、意義深く、価値高いことであることを改めて確認しました。

この調査を通し、ボランティアを受けたい人も、やろうとする人も、みんな前向きで、これからの当会の活動が明るいことを実感しています。また、アンケートの作成・配付から冊子構成等、すべてがボランティアで行われたこともお知らせし、みなさんの温かいご協力に感謝しております。

最後になりましたが、意識調査協力員のみなさまと、支援して下さった東庄町社会福祉協議会に、心よりお礼申し上げます。

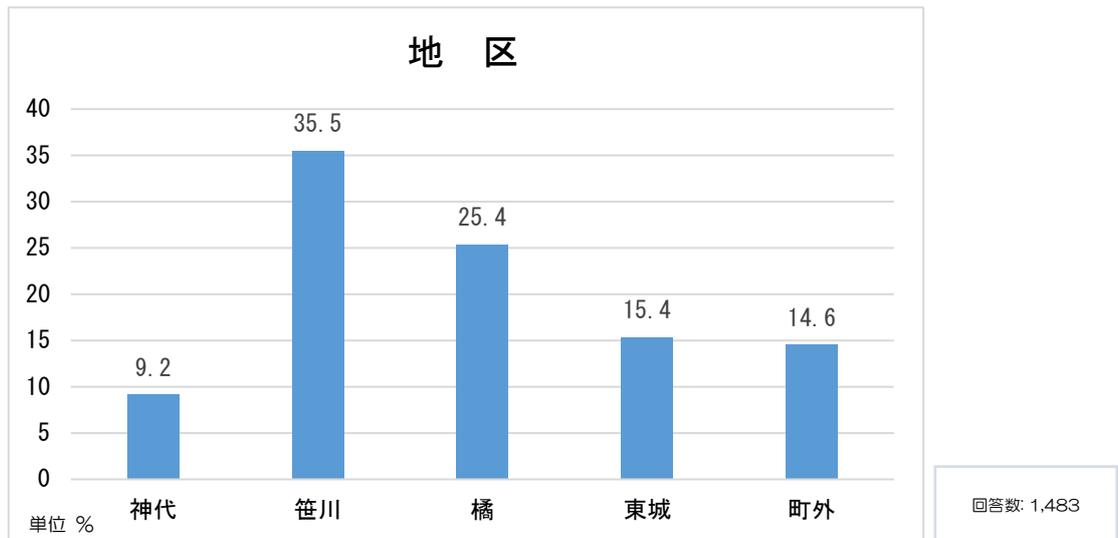
東庄町ボランティア連絡協議会
会長 岩根優子

2 ボランティア活動に関するアンケート調査結果

【1】あなたご自身のことについてお聞きします。

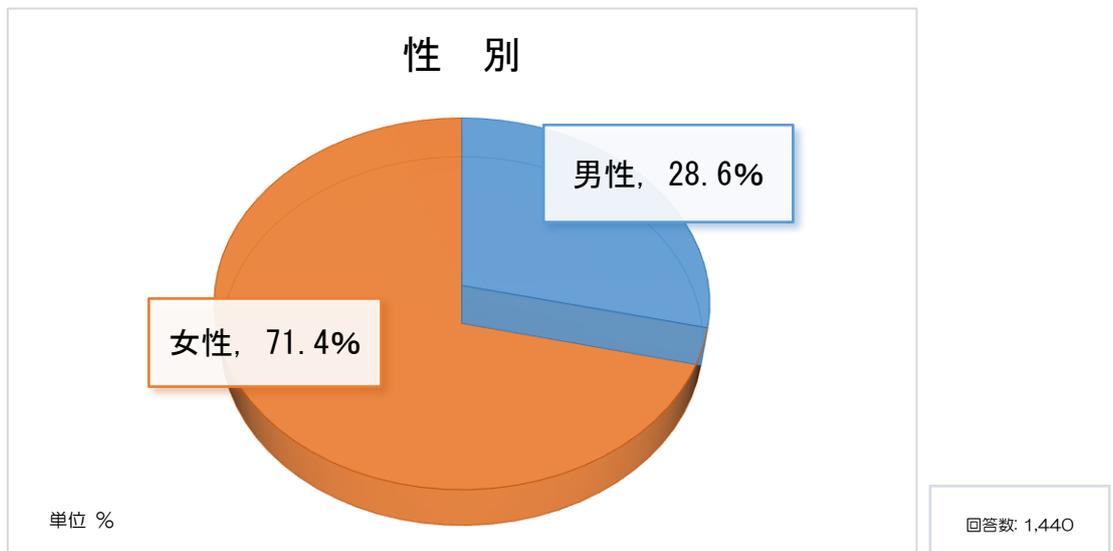
(1) あなたのお住まいの地区に○をしてください。

「笹川地区」(527件 35.5%)、「橘地区」(376件 25.4%)、「東城地区」(228件 15.4%)、「神代地区」(136件 9.2%)、「町外」(216件 14.6%)となっている。



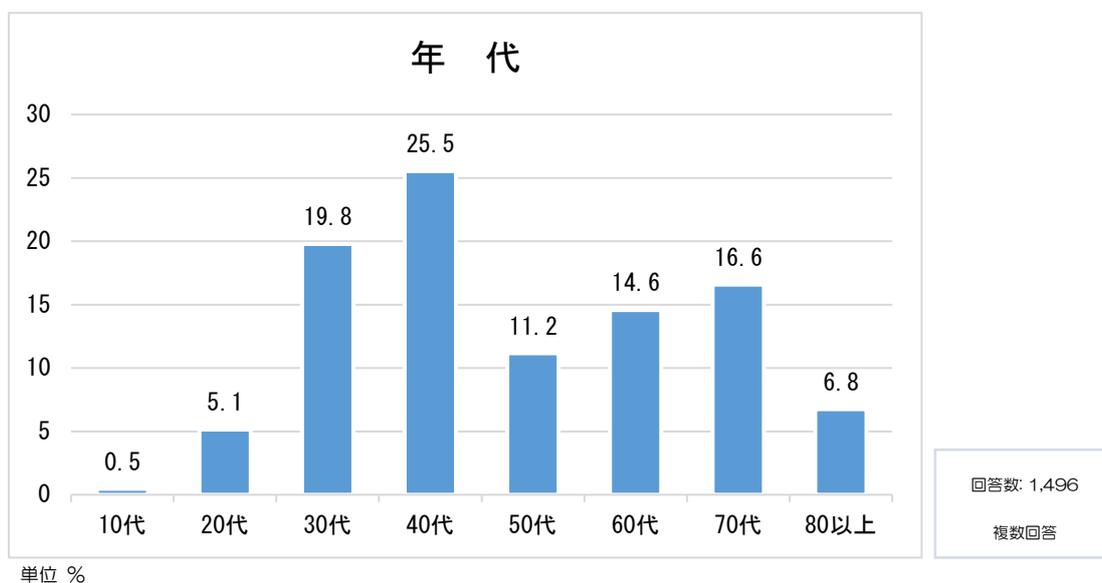
(2) 性別に○をしてください。

「女性」(1,028件 71.4%)、「男性」(412件 28.6%)と、回答者の7割超が女性となっている。



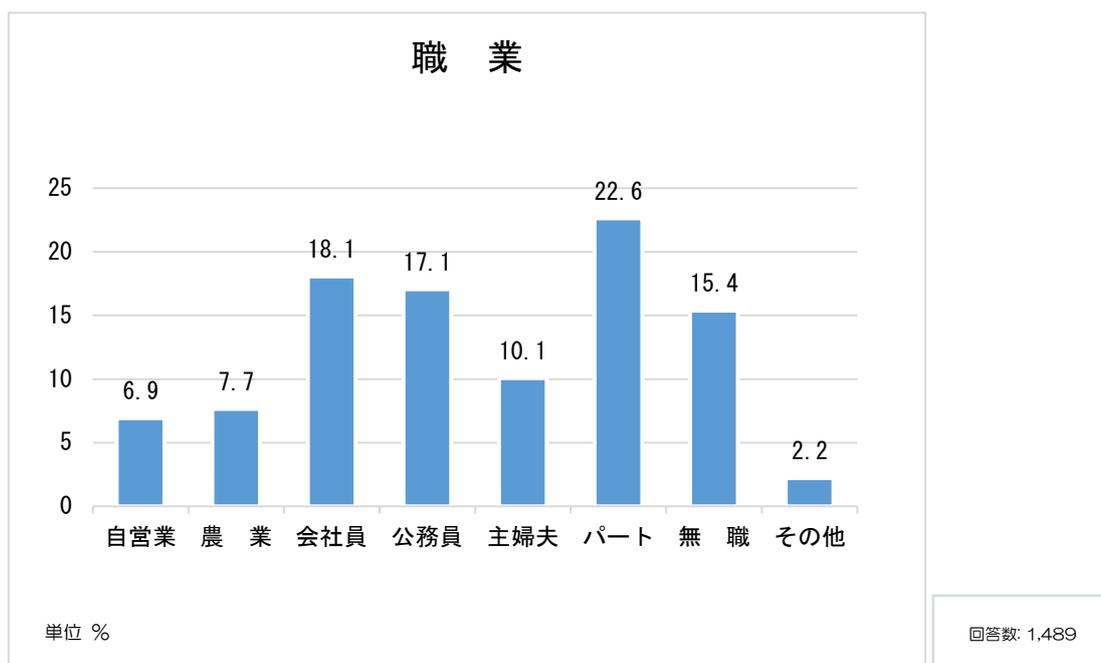
(3) 年齢に○をしてください。

「40歳代」(382件 25.5%)、「30歳代」(296件 19.8%)、「70歳代」(248件 16.6%)となっている。



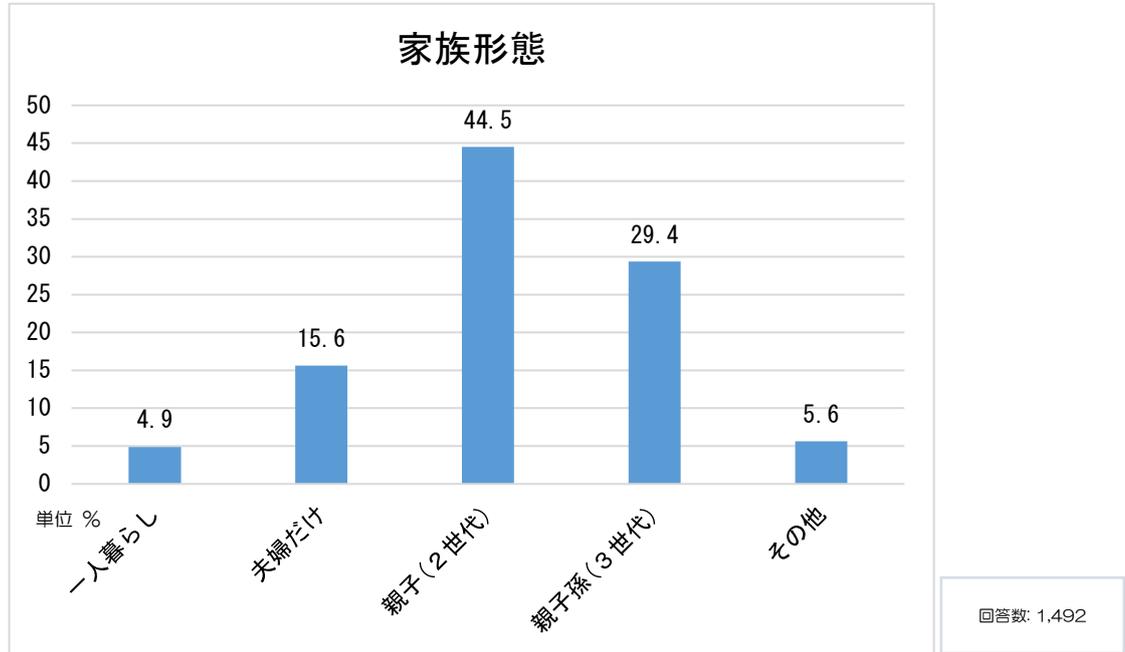
(4) 職業等に○をしてください。

「パート・アルバイト」(337件 22.6%)、「会社員」(269件 18.1%)、「公務員」(254件 17.1%)となっている。



(5) 家族形態に○をしてください。

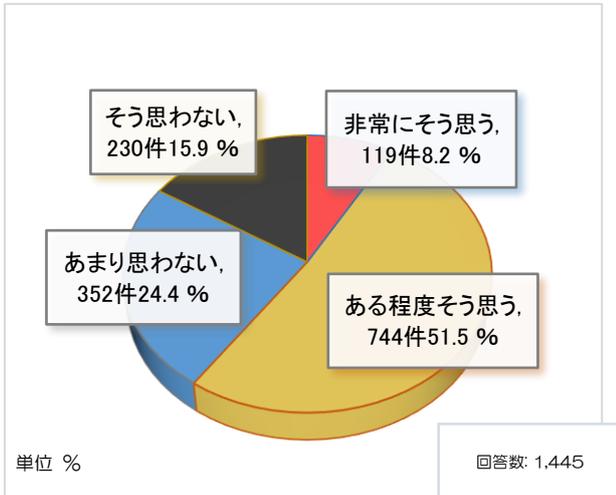
「親子（2世代）」（664件 44.5%）、「親と子と孫（3世代）」（438件 29.4%）、「夫婦だけ」（233件 15.6%）となっている。



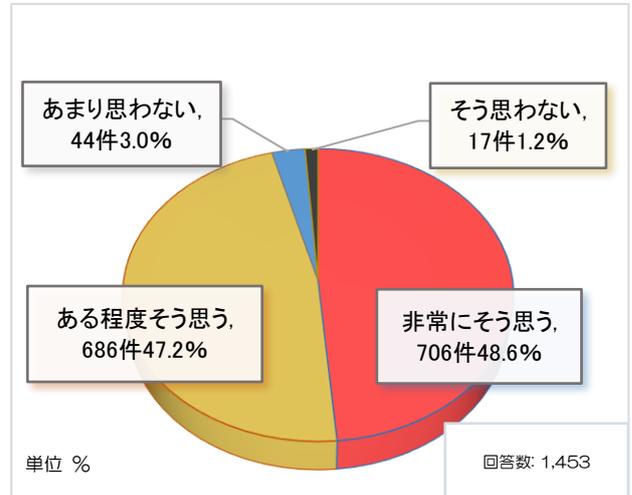
【2】 ボランティア活動やイメージに関してお聞きします。

(1) あなたのボランティア活動に対するイメージについて、お伺いします。

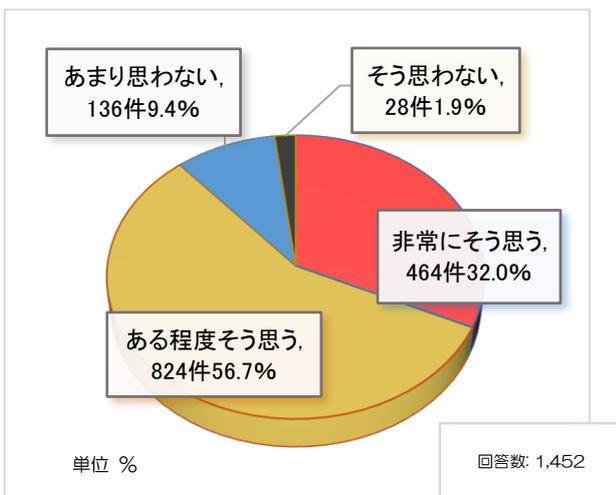
A 生活にゆとりがある人が行うものである



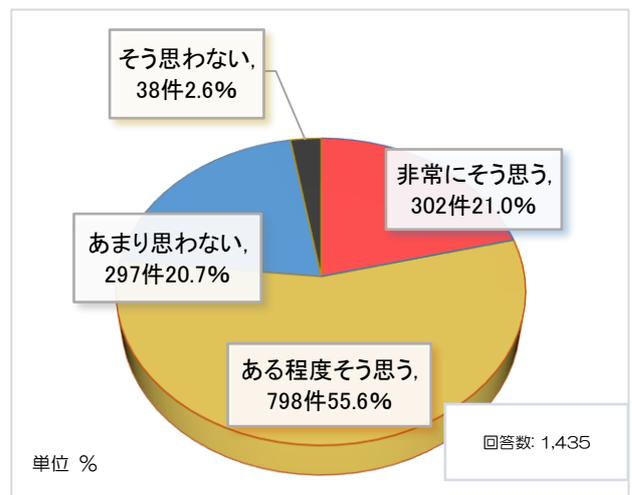
B 思いやりがあるものである



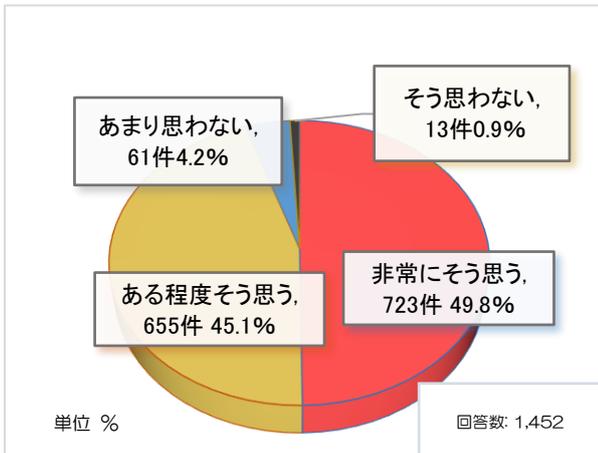
C 自らを成長させるものである



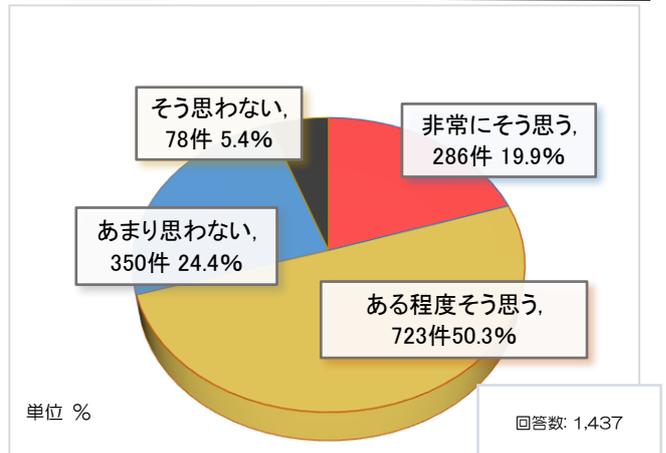
D 生きがいになるものである



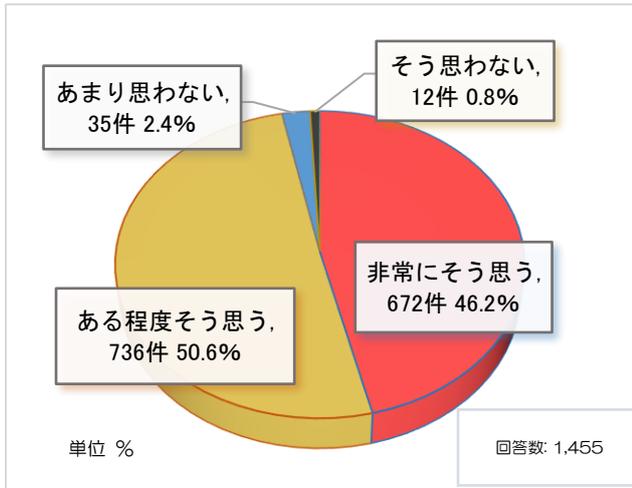
E 自主的に行うものである



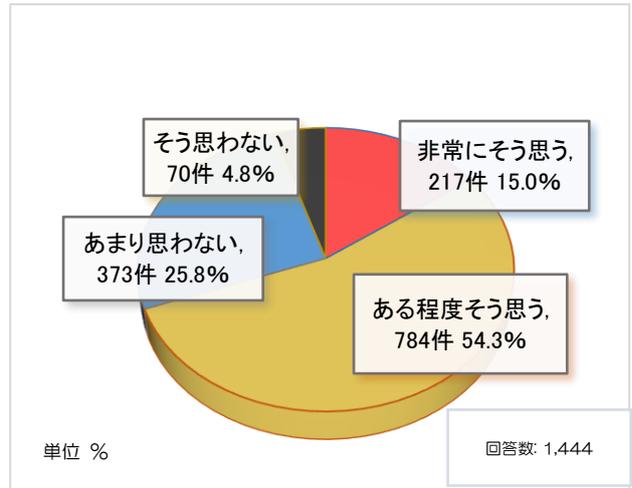
F 責任が重いものである



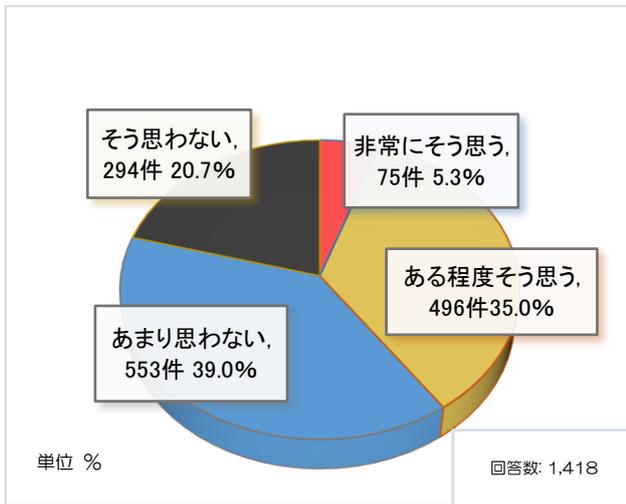
G 社会にとって必要なものである



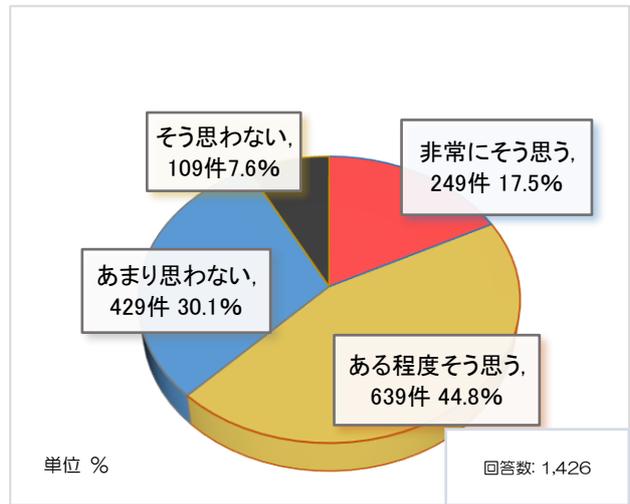
H 仲間づくりである



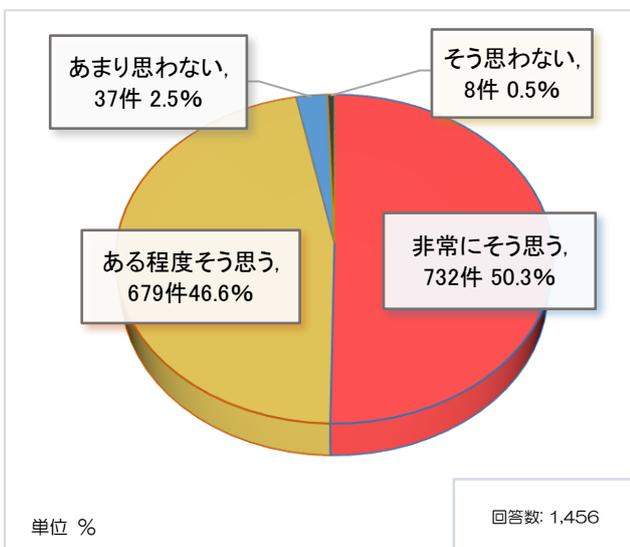
I ボランティア活動は有償であっても良い



J ボランティア活動は無償ですべきである

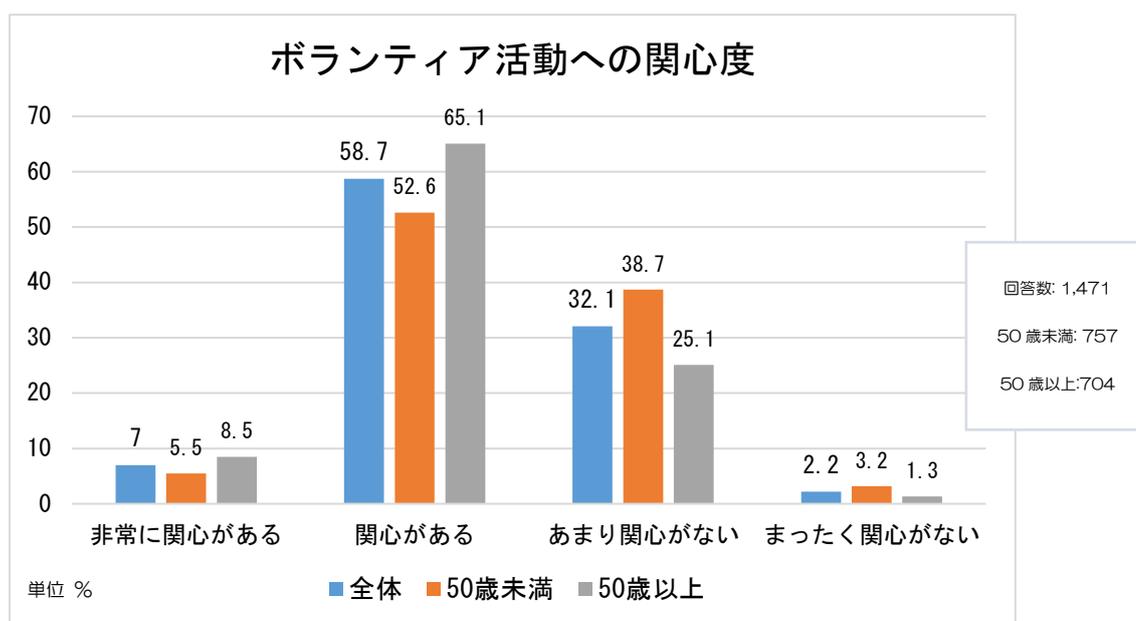


K 助け合いの活動である



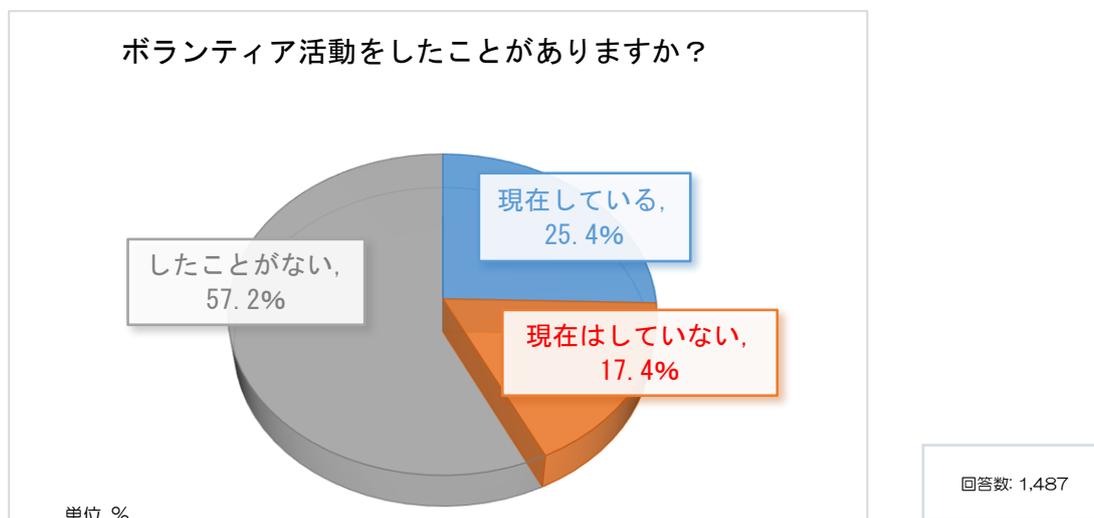
(2) あなたはボランティア活動に関心がありますか。当てはまるものを1つ選んで○をしてください。

「関心がある」(863件 58.7%)、「あまり関心がない」(472件 32.1%)「非常に関心がある」(103件 7.0%)、「まったく関心がない」(33件 2.2%)の順となっており、ボランティア活動への関心が高い割合を示している。



(3) あなたのボランティア活動について、当てはまるものを1つ選んで○をしてください。

「今までにボランティア活動をしたことがない」(851件 57.2%)、「現在ボランティア活動をしている」(378件 25.4%)、「以前は活動していたが、現在はしていない」(258件 17.4%)となっている。活動の実態をみると、経験したことのある人は、42.8%である。経験が無いと回答した人が57.2%と、高い数値が出ている。



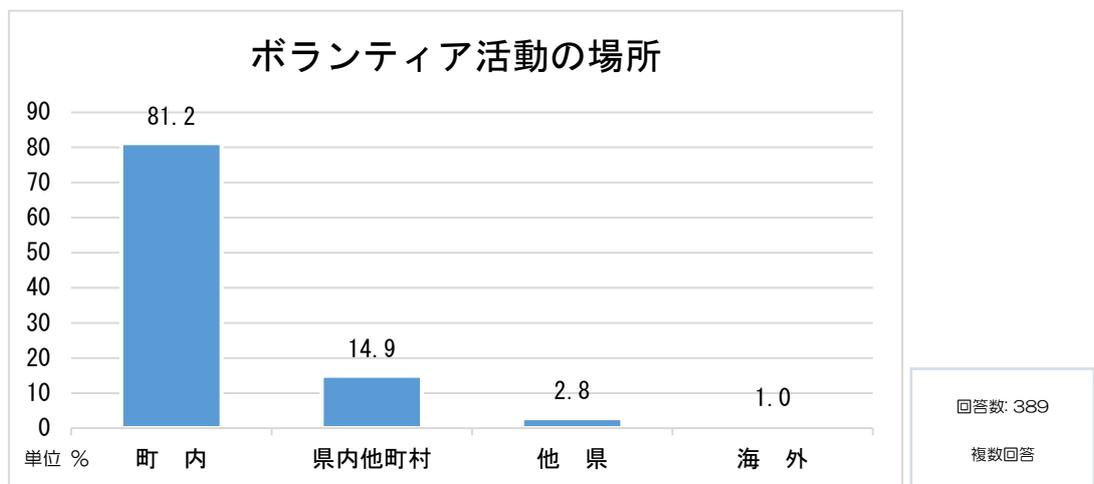
【2】 ボランティア活動やイメージについて

- ボランティア活動のイメージとして思いやりを重要視しており、自らの成長や生きがいに通じるものであると、ボランティア活動の大切さを肯定的に捉えている。
- 関心の高さを見ても、ボランティア活動を肯定的に捉えているイメージと合わせ、「関心がある」が「非常に関心がある」と合わせ 65%である。ただ、この関心の高さに対して、活動の状況では、57.2%の人が活動の経験がないと回答していて、回答者の理想と現実のギャップが感じ取れる。しかし、実際には 25%の人が現在何らかの形でボランティア活動に携わっている。この4人に1人の割合で活動している人がいることは、これからの活動にとって大変明るい見通しとして期待できる。

【3】 ボランティア活動をしている方にお聞きします。

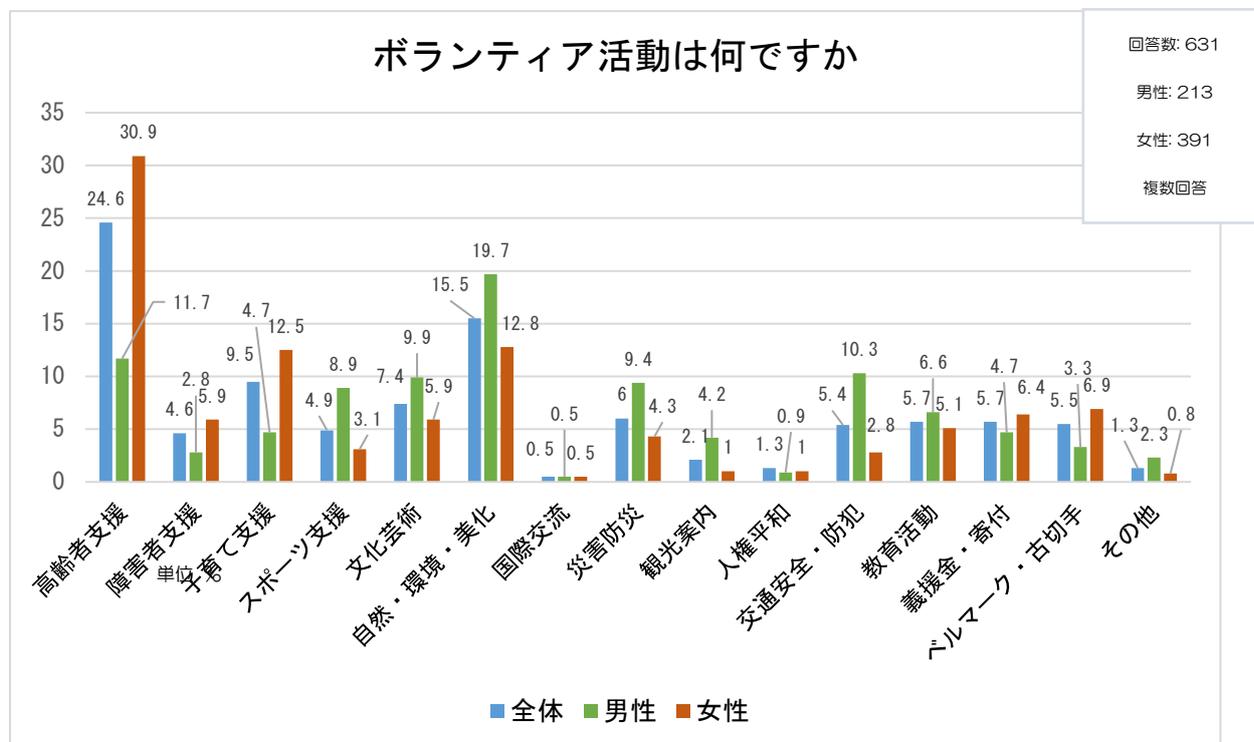
- (1) あなたがしている主なボランティア活動の活動場所はどこですか。当てはまるものを選んで○をしてください。

「町内」(316件 81.2%)、「県内他市町村」(58件 14.9%)、「他県」(11件 2.8%)
「海外」(4件 1.0%)となっており、活動場所は町内が8割を占めている。



(2) あなたがしている主なボランティア活動は何ですか。

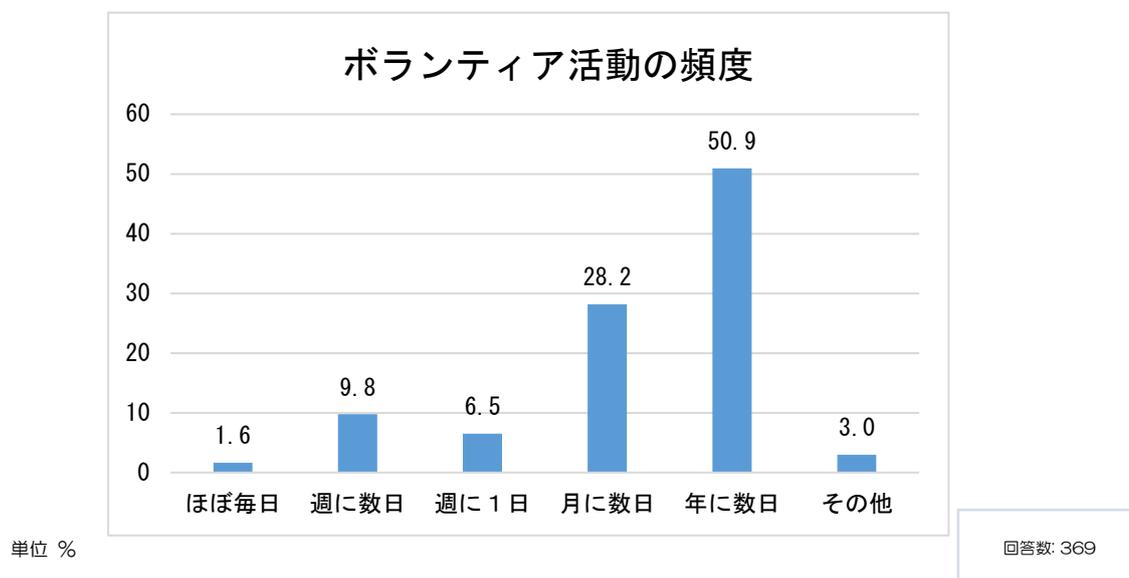
「高齢者に対する活動」(155件 24.6%)、「自然保護・環境保全・地域美化活動」(98件 15.5%)、「子育てをする親と子供の支援活動」(60件 9.5%)の順となっている。



(3) それらの活動をどれくらいしていますか。当てはまるものを1つ選んで○をしてください。

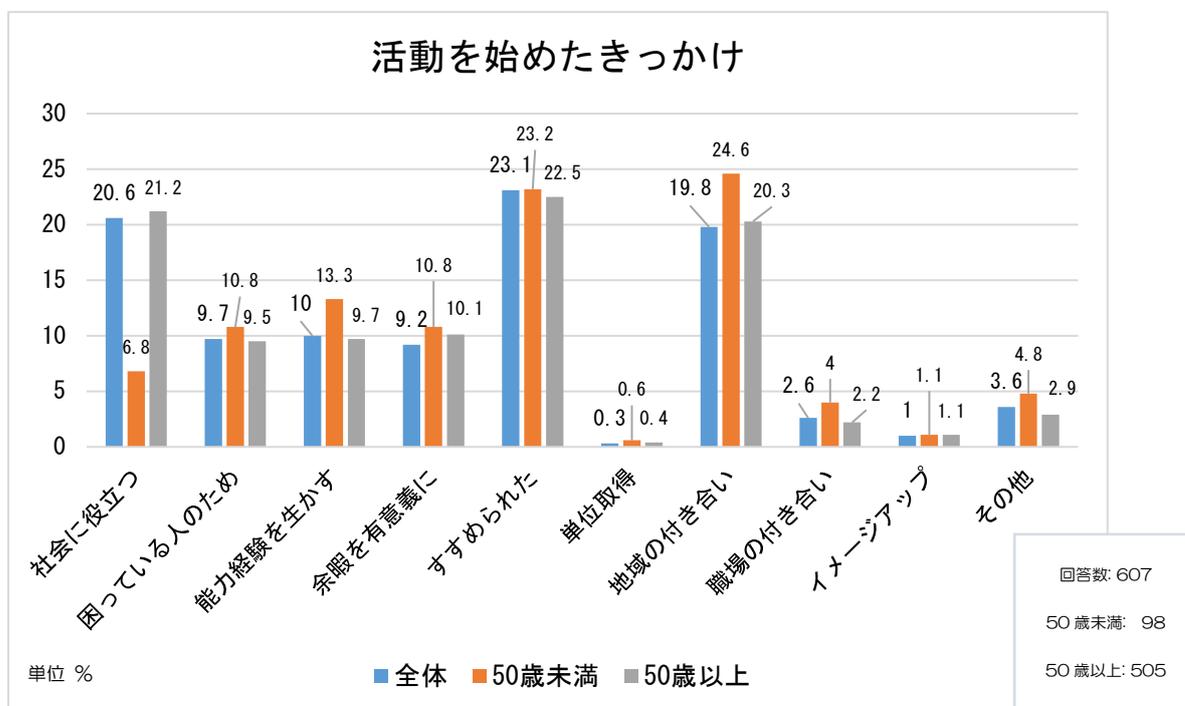
「年に数日」(188件 50.9%)、「月に数日」(104件 28.2%)、「週に数日」(36件 9.8%)の順となっている。

また「その他」には「要請があったとき」という回答があった。



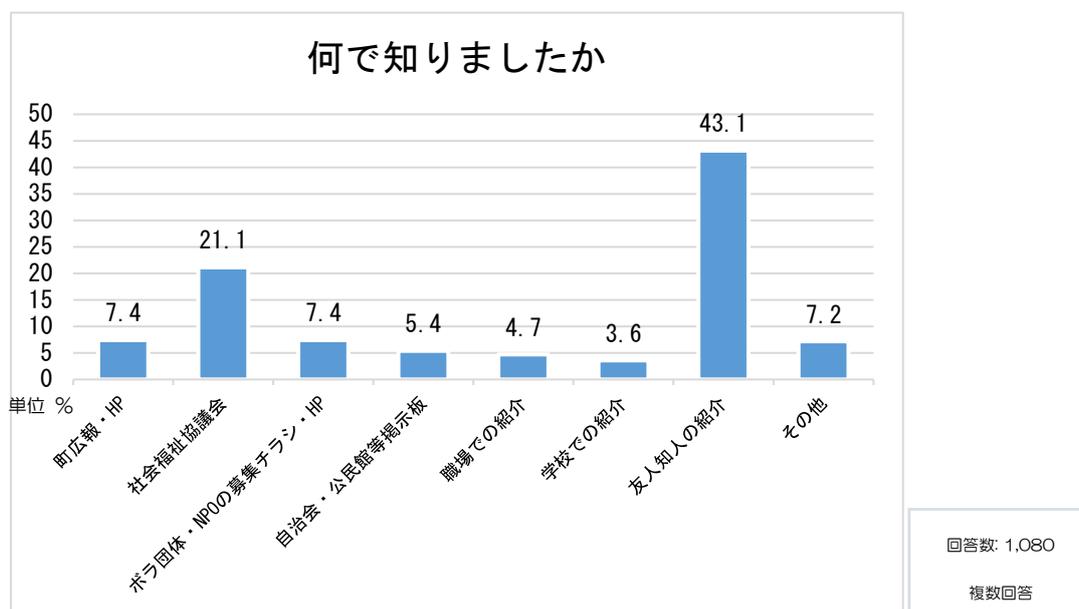
(4) あなたがボランティア活動を始めた主なきっかけは何ですか。当てはまるものを選んで○をしてください。(3つまで可)

「人からすすめられたから」(140件 23.1%)、「社会のために何か役立ちたかったから」(125件 20.6%)、「地域でのつきあいのため」(120件 19.8%)の順となっている。



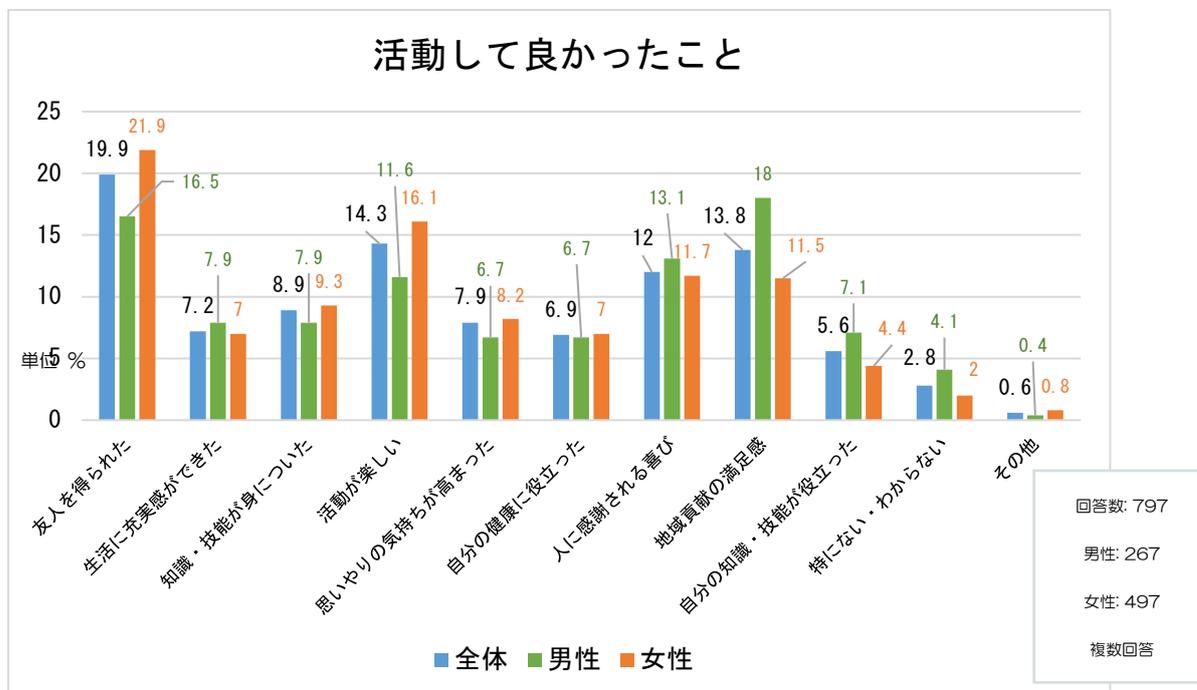
(5) あなたが参加しているボランティア活動は何で知りましたか。当てはまるものを選んで○をしてください。(3つまで可)

「友人知人の紹介」(192件 43.1%)、「東庄町社会福祉協議会」(94件 21.1%)、「東庄町広報・ホームページ」と「ボランティア団体・NPOの募集チラシ」が同率(33件 7.4%)の順となっている。



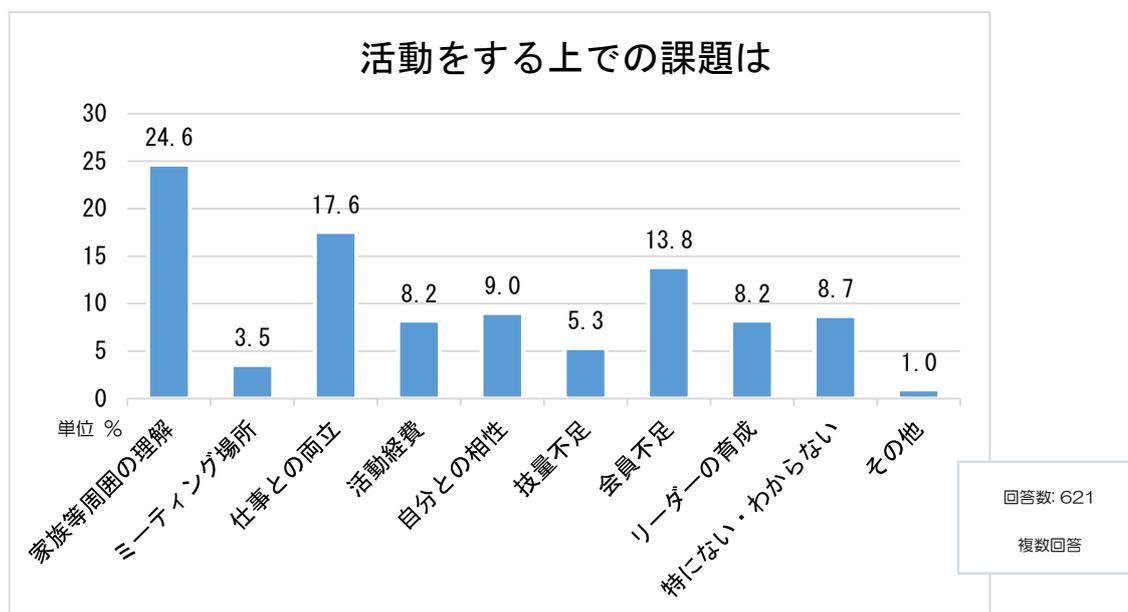
(6) あなたにとってボランティア活動に参加してよかったことは何ですか。

「友人を得ることができた」(159件 19.9%)、「活動そのものが楽しかった」(114件 14.3%)、「地域への貢献ができ満足感が得られた」(110件 13.8%)の順となっている。



(7) ボランティア活動をする上で課題となるものは何だと思いませんか。当てはまるものを選んで○をしてください。(3つまで可)

「家族等周囲の理解」(153件 24.6%)、「仕事などとボランティア活動の両立」(109件 17.6%)、「会員不足」(86件 13.8%)の順となっている。



【3】現在ボランティア活動をしている人について

- 活動内容としては、やはり「高齢者支援」「自然保護・環境保全・美化」「子育て支援」が多く、もっとも必要とされる活動である。男女別でみると「高齢者」「子育て」は女性の割合が多く、男性は「自然保護・環境保全・美化」「交通安全・防犯」というようにそれぞれの活動がなされている。
- 活動を始めたきっかけを見てみると（「一緒にやってみない？」「人手が足りないから応援して」）などと、「人からすすめられた」「地域の付き合いで」が活動のきっかけの主なものである。このきっかけの中で「社会のために何か役立ちたかった」も2位と多いのであるが、特に50歳以上21.2%、50歳未満6.8%と、大きな差が見られる。50歳以上では、自分が社会の一員として役立ちたい・自分の持てる力を社会に活用したい・社会とのコミュニケーションを保っていたいと思う心情の表れではないだろうか。
- 何で知ったかについては「友人・知人の紹介」が43.1%と約半分の割合を占めている（きっかけの「すすめられた」と繋がっている。）ボランティア活動は『人と人のつながり』が一番大きく大切な要素である。そのことを考えると、参加して良かったことの中に、「友人を得られた」「活動が楽しかった」「満足できた」等の感想を持った人が多く、ボランティアが単に人のため社会のためだけでなく、自分自身に還ってくるものであることを身をもって感じているものと読みとれる。

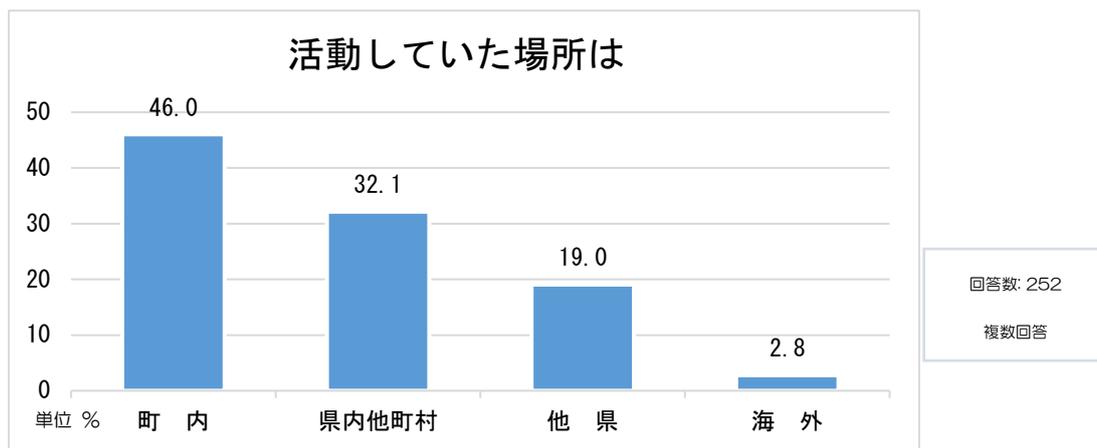
また、男女別に参加して良かったことを比較してみると、女性は「友人が得られた」・「活動が楽しい」が多く、男性は「地域貢献の満足感」が多いという結果であった。

【4】 ボランティア活動をしていたが、現在はしていない方にお聞きします。

(1) あなたがしていた主なボランティア活動の活動場所はどこでしたか。当てはまるものを選んで○をしてください。

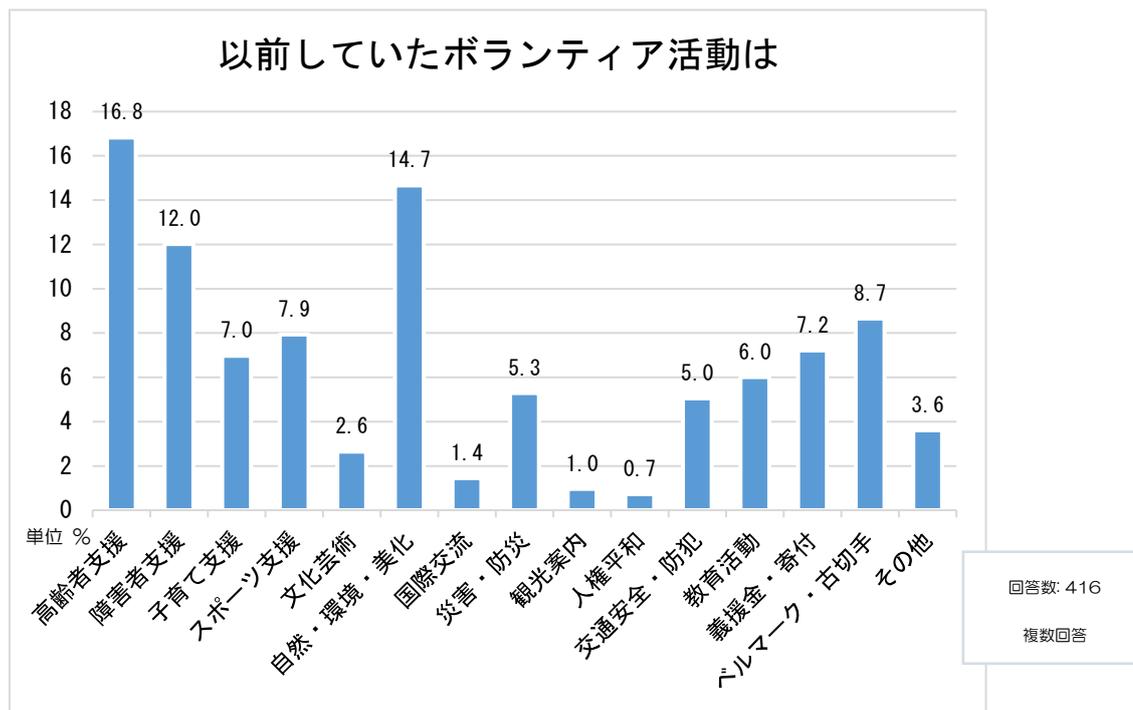
「町内」(116件 46.0%)、「県内他市町村」(81件 32.1%)、「他県」(48件 19.0%)、「海外」(7件 2.8%)の順となっている。

「他県」では「茨城県」が最も多く、「宮城県」や「福島県」など震災の被災地も多く挙げられていた。「海外」では「ユニセフ」や「赤十字活動」として活動していた例もあった。



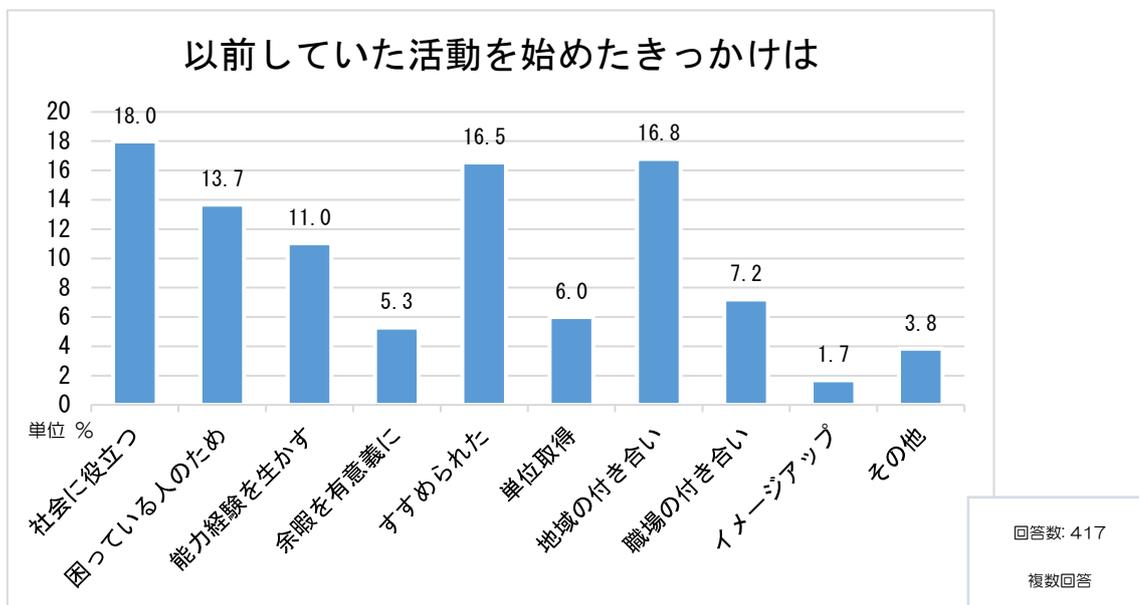
(2) あなたがしていた主なボランティア活動は何でしたか。

「高齢者に対する活動」(70件 16.8%)、「自然保護・環境保全・地域美化活動」(61件 14.7%)、「障がい者(児)に対する活動」(50件 12.0%)の順となっている。



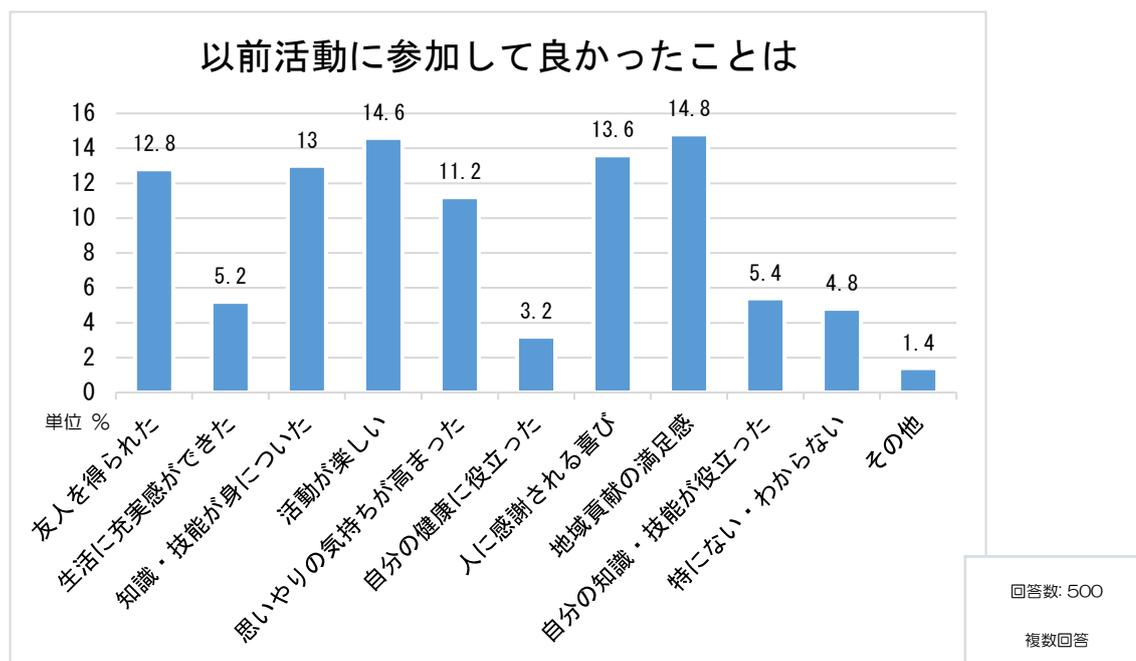
(3) あなたがボランティア活動を始めた主なきっかけは何でしたか。

「社会のために何か役立ちたかったから」(75件 18.0%)、「地域でのつきあいのため」(70件 16.8%)、「人からすすめられたから」(69件 16.5%)の順となっている。



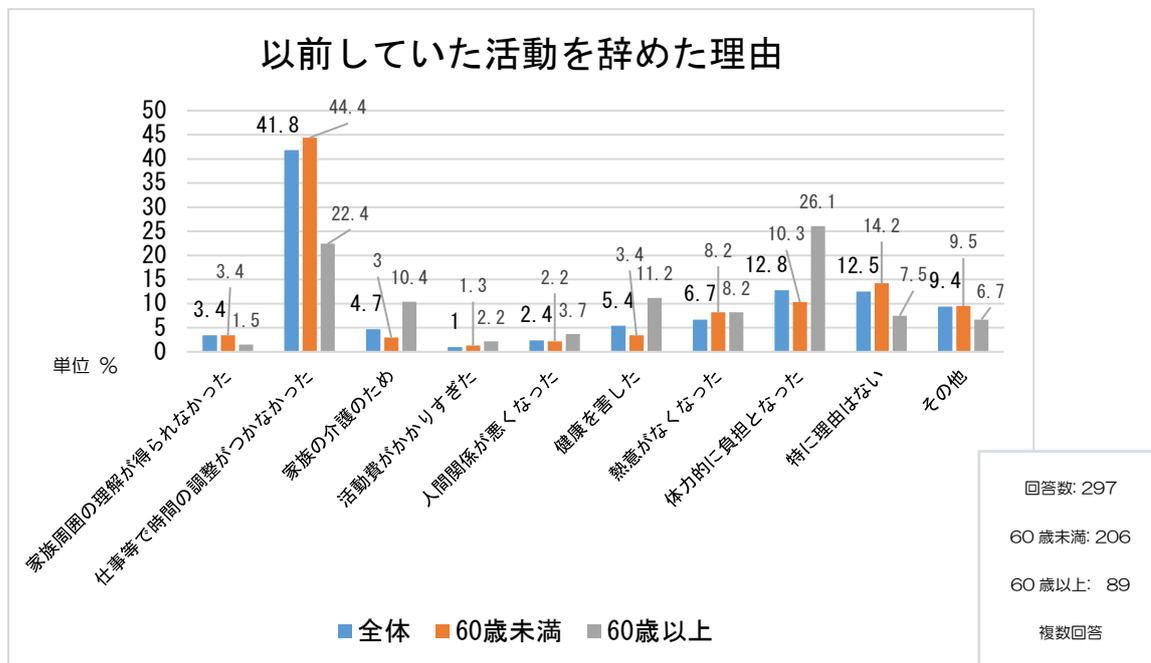
(4) あなたにとってボランティア活動に参加してよかったことは何でしたか。

「地域への貢献ができ満足感が得られた」(74件 14.8%)、「活動そのものが楽しかった」(73件 14.6%)、「人に感謝され喜びを感じた」(68件 13.6%)の順となっている。



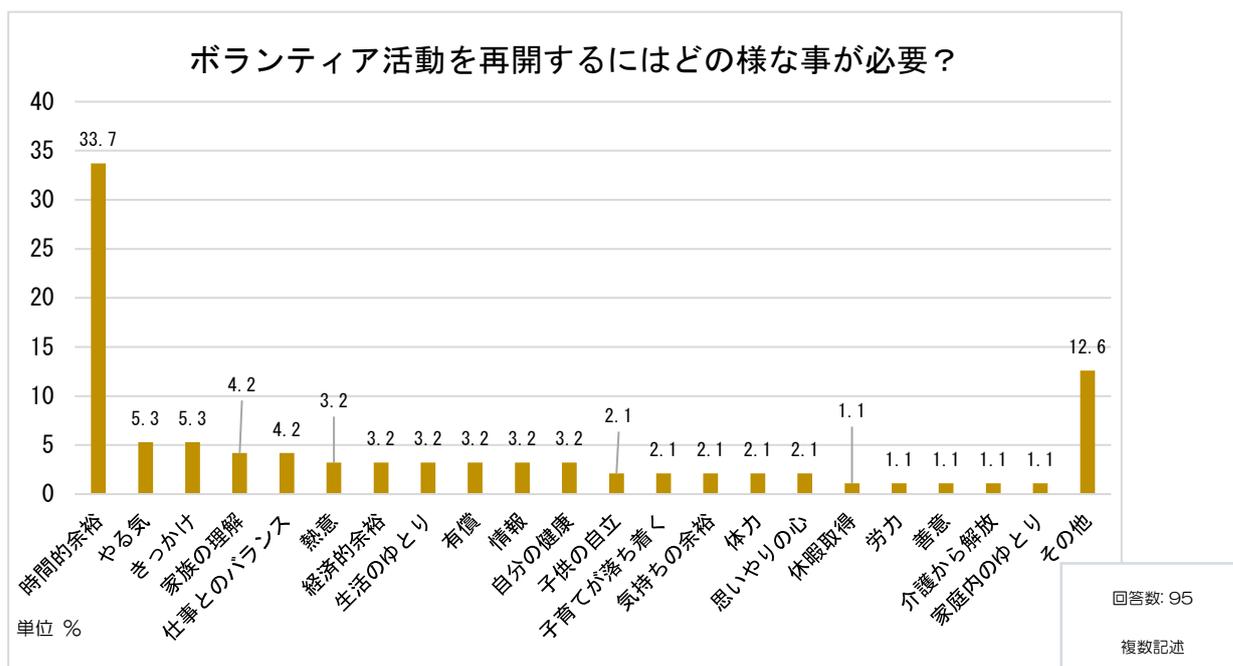
(5) あなたがボランティア活動をやめたのはどのような理由からでしたか。

「仕事等の時間と活動の時間の調整がつかなくなった」(124件 41.8%)、「体力的に負担となってきたから」(38件 12.8%)、「特に理由はない」(37件 12.5%)の順となっている。



(6) 今後ボランティア活動を再開するにはどのような事が必要だと思いますか。
(自由記述)

「時間的余裕」(33.7%)という回答が最も多く、次いで「やる気」や「熱意」「きっかけ」となっている。



【4】ボランティア活動をしていたが、現在はしていない人について

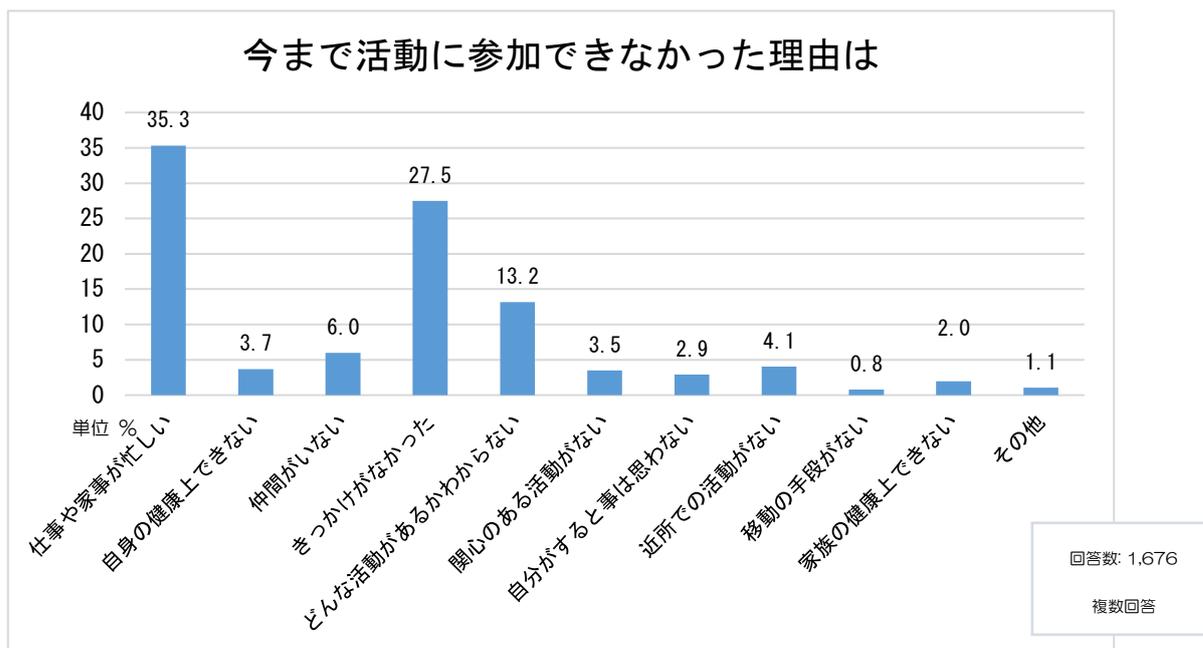
- 活動をやめた理由の第1位が「仕事と時間…」41.8%と多かったのは、若い世代の人たちの、仕事や子育ての都合ということで十分理解できる。また、シニア世代にしても自宅での介護や孫の面倒等に手がかかるようになってしまったのではないかと等、想像できることが多々ある。60歳以上で「体力的に負担となった」との回答も十分に理解できる。

これらから、ボランティア活動を再開するために必要なことは、やめた理由第1位の「時間的余裕」・「心の余裕」・「きっかけ」であろうと思われる。

【5】今までにボランティア活動をしたことがない方にお聞きします。

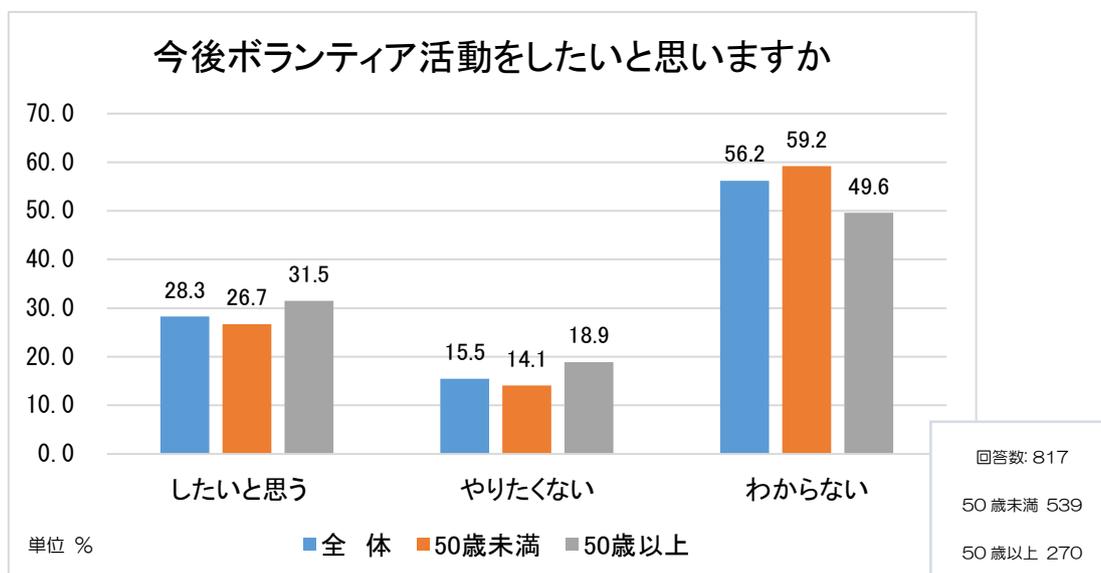
(1) 参加できなかった理由は何ですか。当てはまるものを選んで○をしてください。
(3つまで可)

「仕事や家事が忙しくて時間がとれなかった」(592件 35.3%)、「きっかけがなかった」(461件 27.5%)、「どのような活動があるのかわからなかった」(221件 13.2%)の順となっている。



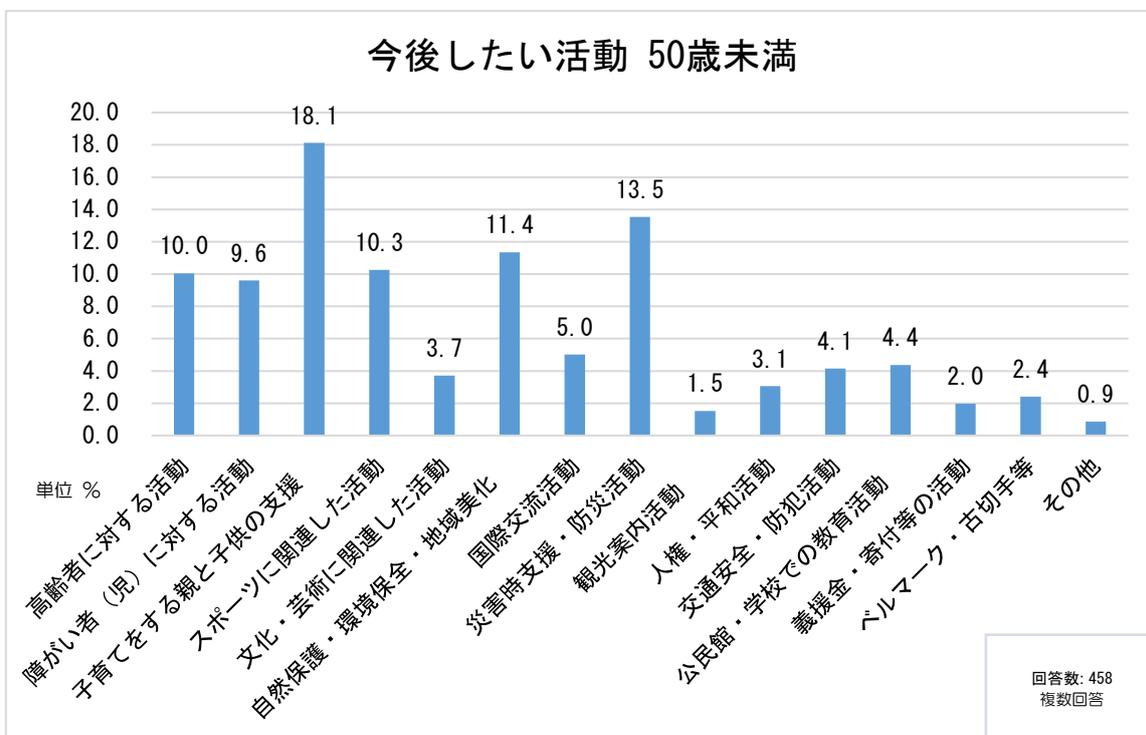
(2) 今後ボランティア活動をしたいと思えますか。

「わからない」(459件 56.2%)、「したいと思う」(231件 28.3%)、「やりたくない」(127件 15.5%)となっている。

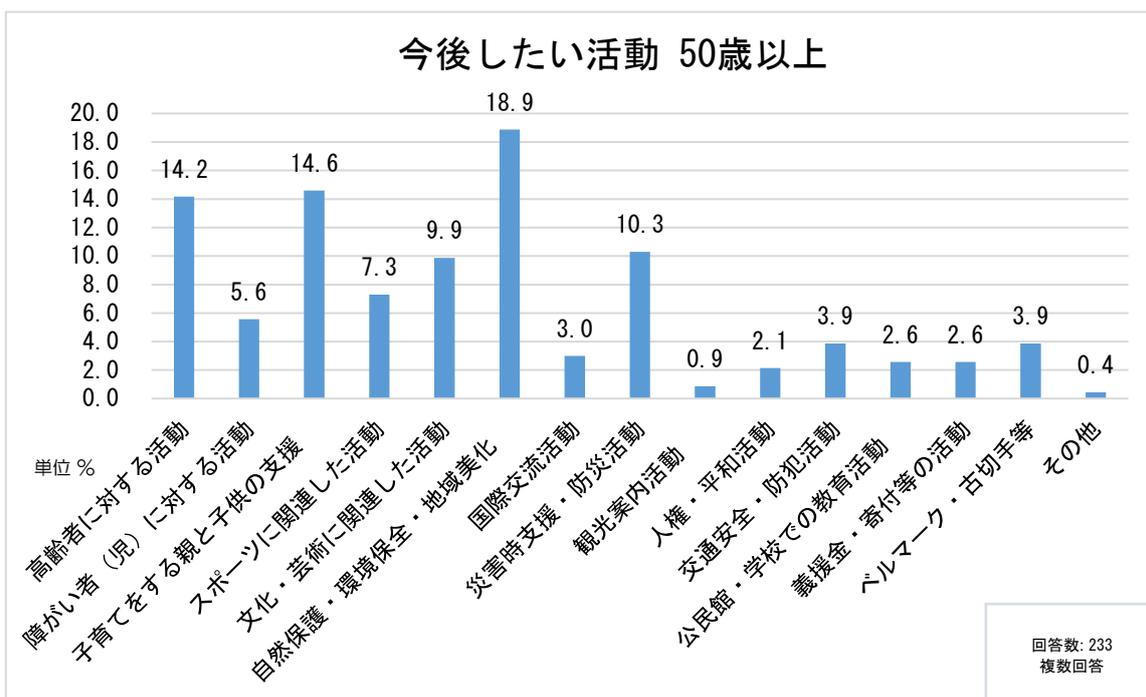


(3) 今後、あなたがしてみたいと思う主なボランティア活動は何ですか。当てはまるものを選んで○をしてください。(①～⑮のうち3つまで可)

50歳未満では、「子育てをする親と子供の支援活動」(83件 18.2%)、「災害時支援・防災活動」(62件 13.5%)、「自然保護・環境保全・地域美化活動」(52件 11.4%)の順となっている。



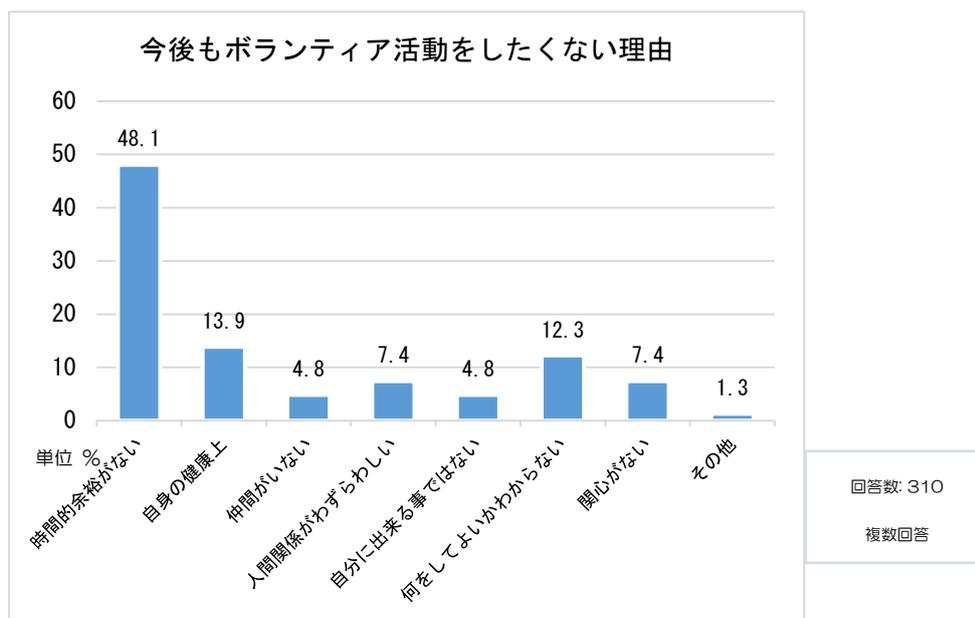
50歳以上では、「自然保護・環境保全・地域美化活動」(44件 18.9%)、「子育てをする親と子供の支援活動」(34件 14.6%)、「高齢者に対する活動」(33件 14.2%)の順となっている。



(4) 今後、あなたがボランティア活動をしたくないと思わない一番の理由は何ですか。当てはまるものを選んで○をしてください。

「時間的余裕がない」(149件 48.1%)、「自身の健康上の問題」(43件 13.9%)、「何をしてもよいかわからない」(38件 12.3%)の順となっている。

また、下位の「自分にできることだとは思わない」(15件 4.8%)と「関心がない」(23件 7.4%)を足すと1割を超えることもわかった。



【5】今までにボランティア活動をしたことがない人について

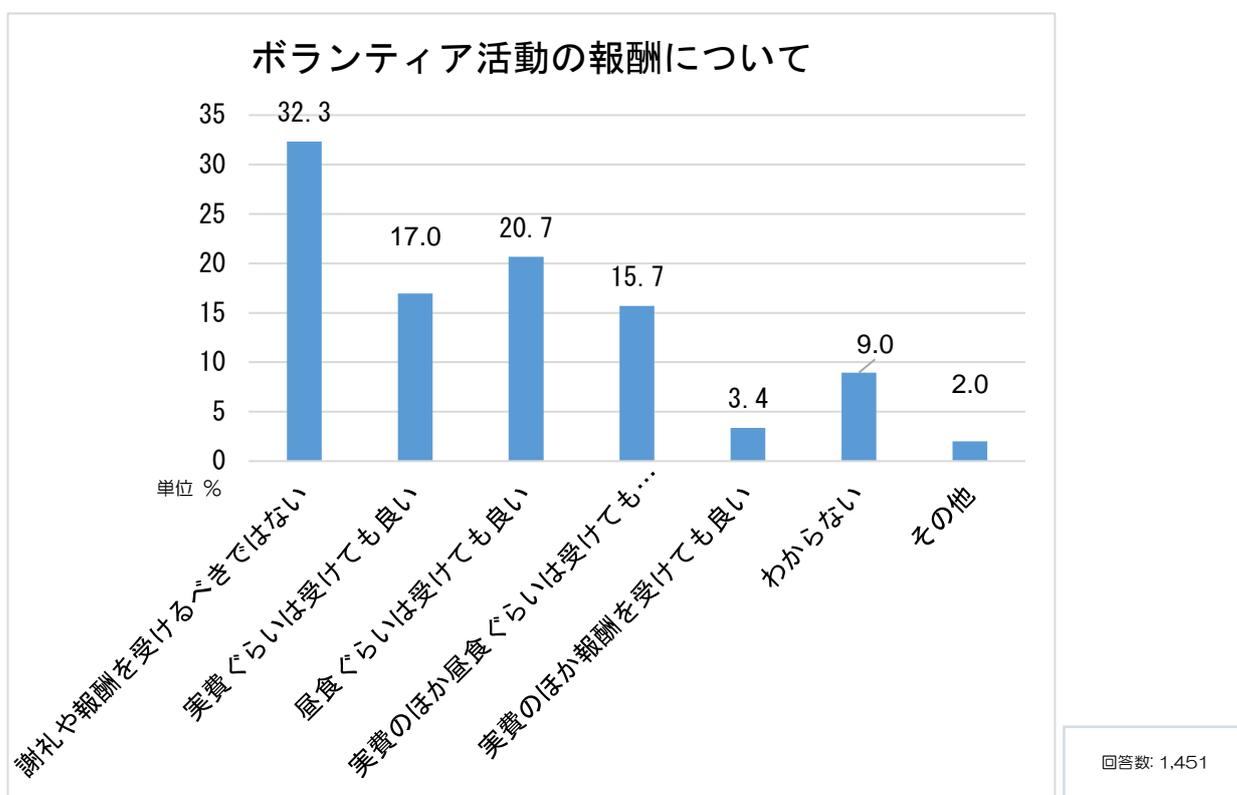
- ボランティアに参加できなかった理由の2位「きっかけが無かった」3位「どんな活動があるかわからない」の回答に対しては、ボランティア連絡協議会として検討する余地のある回答である。きっかけをどう作るか、活動をどう紹介していくか、与えられた大きな課題である。
- 今後ボランティア活動したいと思うかの設問では、若い世代の「わからない」が59%あるが、「したいと思う」の27%と合わせて、時間的余裕ができた時や緊急時(災害等)には“きっと活躍してくれる”との好意的な解釈が生まれ、それに期待したい。
- 今後してみたいボランティア活動は、若い世代の人たちの“こんな支援があったら助かるのに”“子どものために良い環境がほしい”“もしもの時(災害時)にどうしたらいいの”という思いや願いが、今後してみたいボランティア活動に表れていると思う。現在しているボランティアの第1位が「高齢者支援」に対して、若い世代では「子育て支援」「自然・環境・美化」「災害時支援・防災」が「高齢者支援」を上回る結果が出ている。

※ここからは、すべての方がお答えください。

【6】ボランティア活動に対する報酬についてお聞きします。

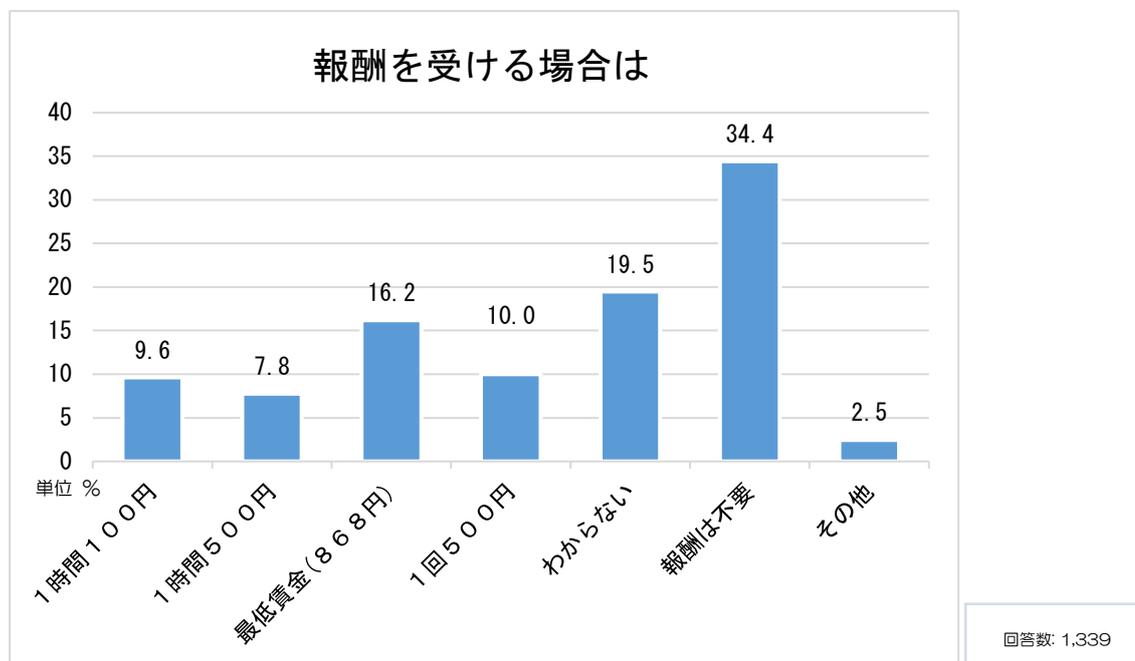
(1) あなたのお考えにいちばん近いのはどれですか、当てはまるものを1つ選んで○をしてください。

「原則として謝礼や報酬を受けるべきではない」(469件 32.3%)、「昼食(お弁当)ぐらいは受けてもよい」(300件 20.7%)、「交通費などの実費ぐらいは受けてもよい」(246件 17.0%)の順となっている。



(2) 報酬を受ける場合適当と思われるものを1つ選んで○をしてください。

「報酬は不要である」(461件 34.4%)、「わからない」(261件 19.5%)、「最低賃金程度」(217件 16.2%)の順となっている。



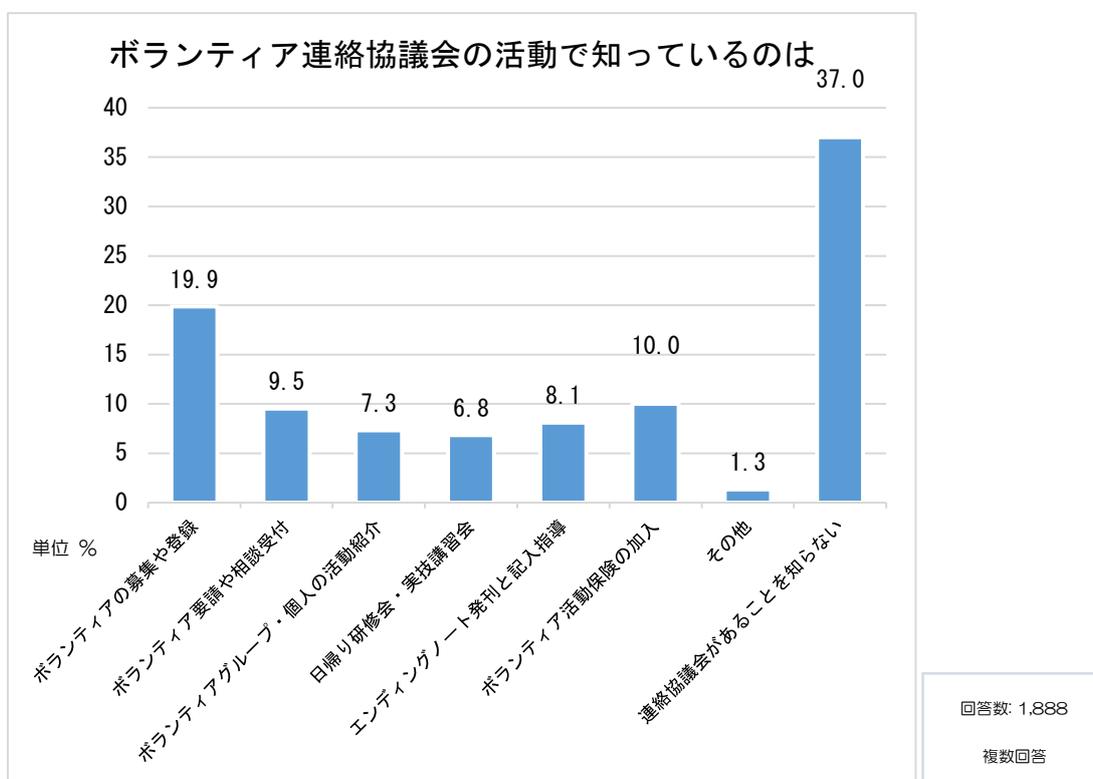
【6】 ボランティア活動に対する報酬について

- 「謝礼や報酬を受け取るべきではない」が32.3%に対し、何らかの形で謝礼等を受けても良いと考えている人が56.8%である。

【7】町では、東庄町ボランティア連絡協議会を設け、ボランティア間の情報交換・交流を図り、ボランティアの力を高める活動をしています。東庄町ボランティア連絡協議会についてお聞きします。

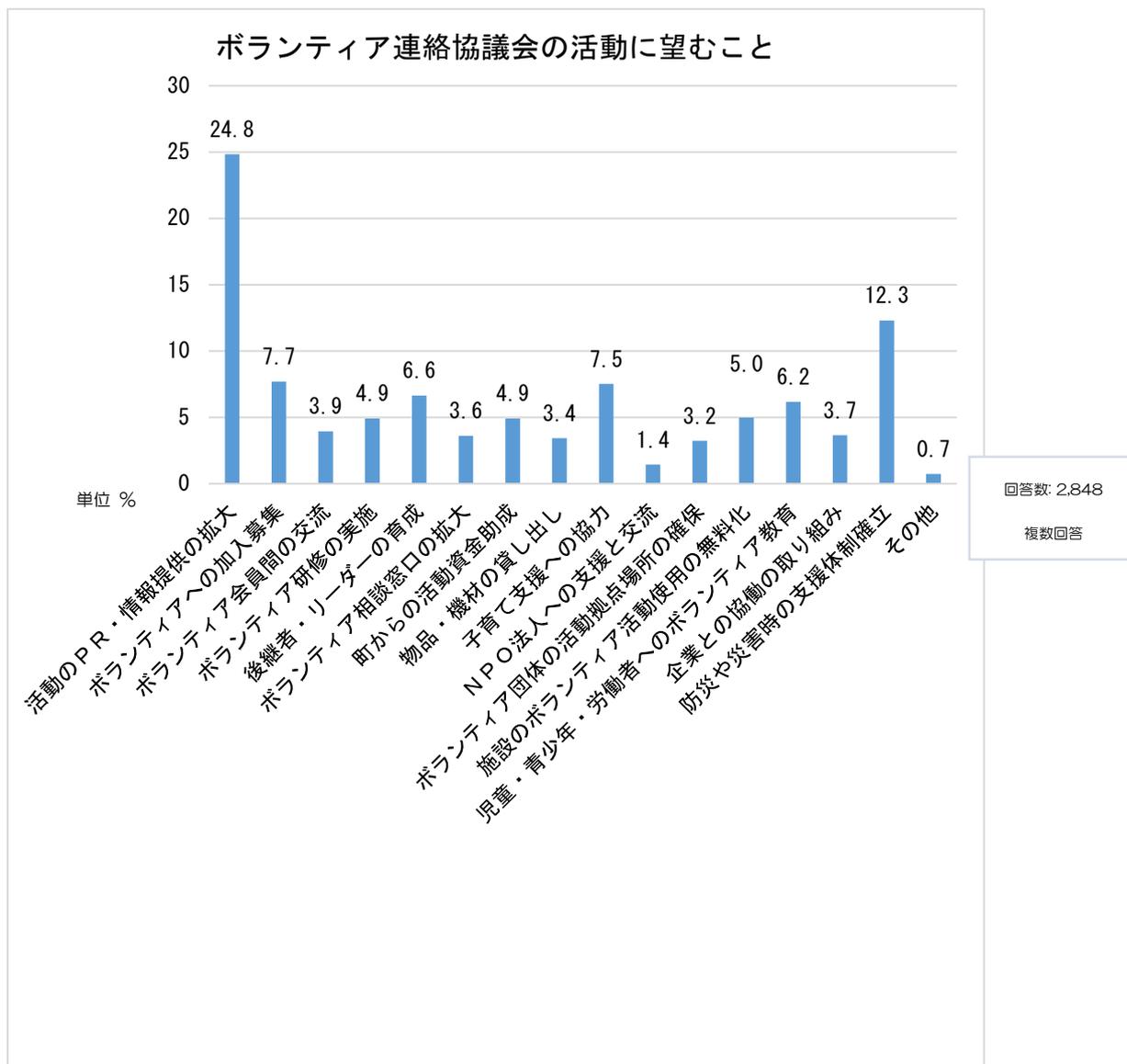
(1) 東庄町ボランティア連絡協議会の活動内容について、知っていることはどれですか。当てはまるものを選んで○をしてください。

「東庄町ボランティア連絡協議会があることを知らない」(699件 37.0%)、「ボランティアの募集や登録」(375件 19.9%)、「ボランティア活動保険の加入」(189件 10.0%)の順となっている。



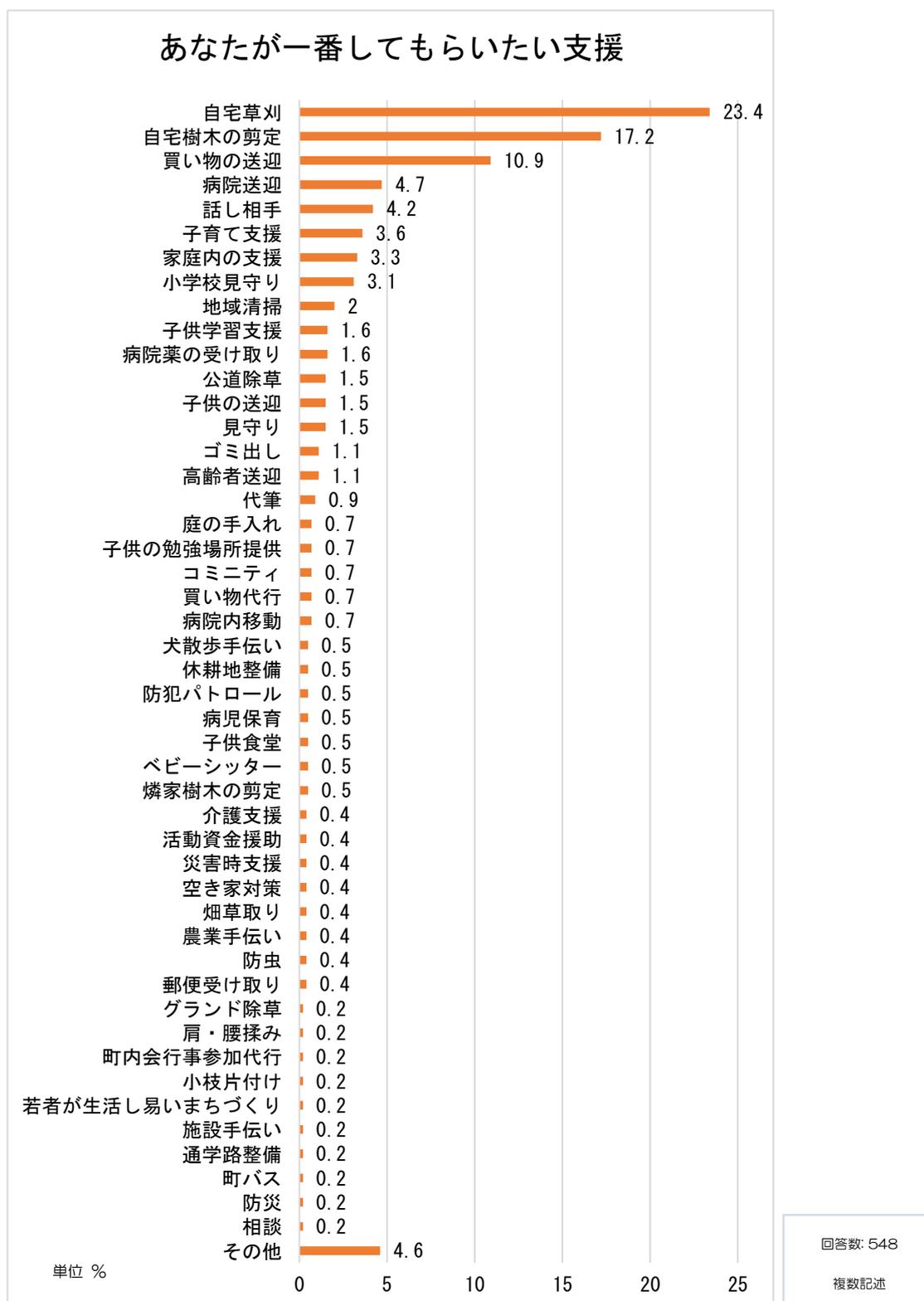
(2) 東庄町ボランティア連絡協議会活動の活性化のためにどのようなことを望みますか。当てはまるものを選んで○をしてください。

「ボランティア活動のPR・情報提供の拡大」(707件 24.8%)、「防災・災害時の支援体制確立」(350件 12.3%)、「ボランティアへの加入募集」(219件 7.7%)の順となっている。



(3) あなたが一番してもらいたい支援は何ですか。ありましたら下記に具体的に記入してください。(自由記述)

支援してもらいたいことを47項目に分類すると、「自宅の草刈」と「樹木剪定」(40.6%)、「買い物送迎」(10.9%)等となっている。



【7】東庄町ボランティア連絡協議会について

- 具体的な活動内容については、「ボランティアの募集や登録」19.9%をはじめ、ボランティア保険・エンディングノート等、当会のボランティア活動に携わっている人にとってはわかる項目である。これに対し、「東庄町ボランティア連絡協議会を知らない」と答えた37.0%の人たちにとっては、困った問であったと思われる。

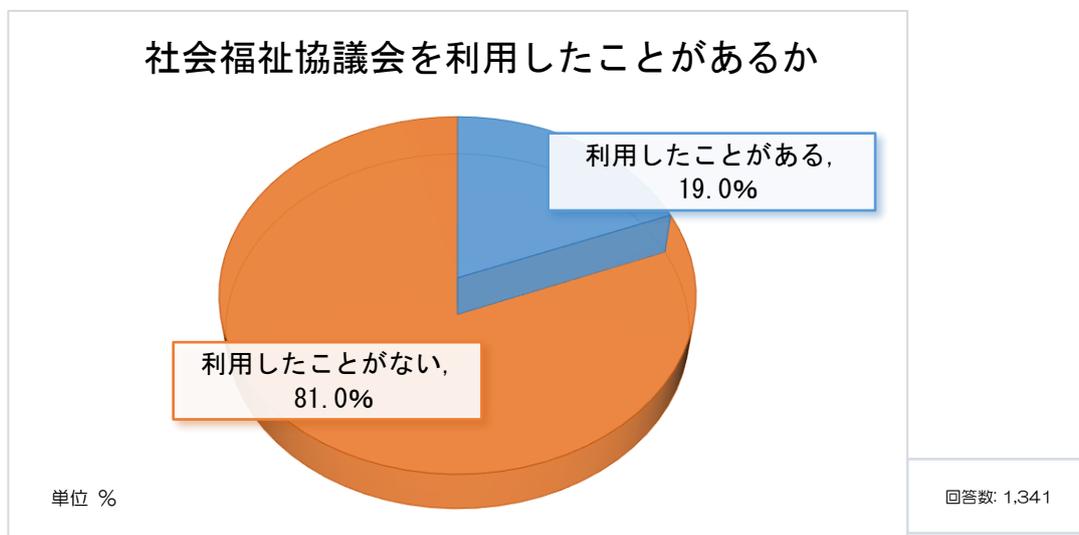
この差を、ボランティアに関わるシニア世代の人と、子育て中などでボランティアに関われない若い世代等の人たちとの、当会の抱える大切な現実問題だと捉えたい。

- 東庄町ボランティア連絡協議会の活性化の第一に望むことに「活動のPR・情報提供の拡大」24.8%と高い数字がでた。初めて知った当会の存在や活動の内容から、“当会を知りたい”、“もっと知らせて”という多くの人の反応と受け止めた。そしてこれを、ボランティアに関わらなかった多くの人たちの前向きな意思だとも受け止めた。
- 多くの人のボランティア要請から、他組織や町当局との連携で乗り越えなければならないことも示唆している。

【8】東庄町社会福祉協議会についてお聞きします。

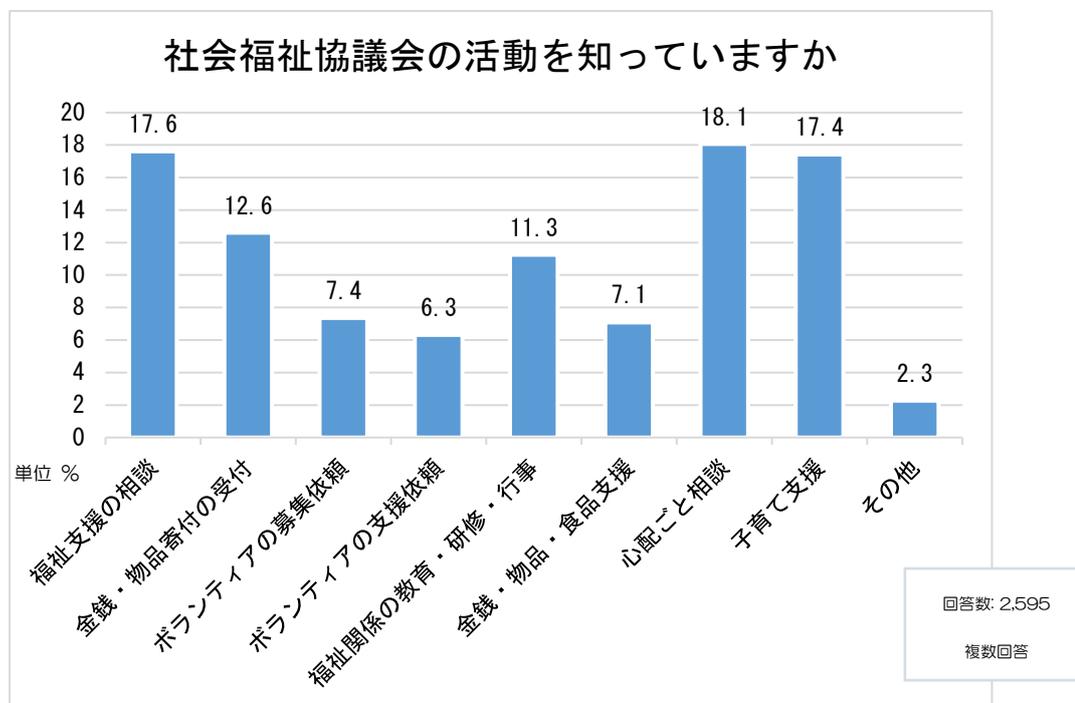
- (1) あなたは東庄町社会福祉協議会を利用したことがありますか。当てはまるものを選んで○をしてください。

「利用したことがない」(1,086件 81.0%)、「利用したことがある」(255件 19.0%)となった。



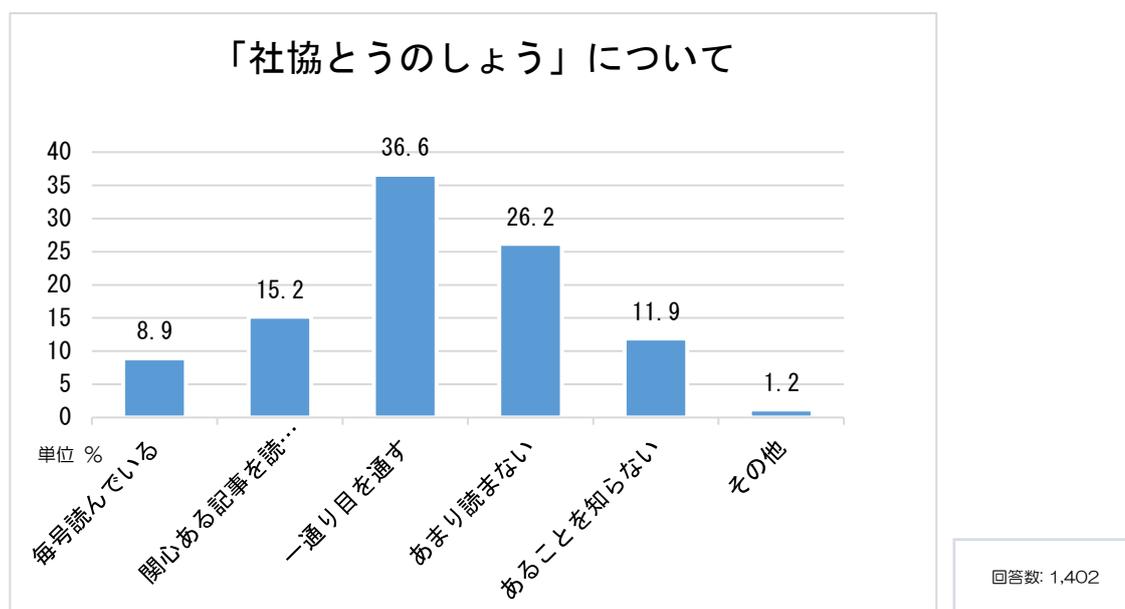
(2) 東庄町社会福祉協議会の活動について知っていることはどれですか。

「弁護士・司法書士等による心配ごと相談」(469件 18.1%)、「福祉支援の相談」(457件 17.6%)、「子育て支援」(452件 17.4%)の順となっている。



(3) 東庄町社会福祉協議会広報「社協とうのしょう」についてお聞きします。当てはまるものを選んで○をしてください。

「ひととおり目を通す」(513件 36.6%)、「あまり読まない」(367件 26.2%)、「自分が関心ある記事を読んでいる」(213件 15.2%)の順となっている。



3 調査結果のまとめ

若い世代には、ボランティアの意義や大切さを理解しつつも活動のきっかけを見つけられなかったり、町でどのような活動が展開されているのかわからなかったりと情報が充分行き届いていないことが分析された。

これに対して、シニア世代からは、はじめたきっかけの多くは友人・知人からの誘いだったこと、活動を通して満足感や喜びを感じられたことなどが挙げられ、これからのボランティア活動を身近に感じ、活動の輪を広げていくためのヒントを得られたように思われた。

また、近年の自然災害の多発が防災・災害への意識の高まりに影響を及ぼし、世代を超えて組織的なボランティアの必要性を求めているように感じられた。

東庄町ボランティア連絡協議会は、活動の主役がボランティア精神や当会の活動を理解し、ボランティア活動に前向きな考えを持っているシニア世代やボランティア団体等であり、その方たちによって現在の活動が進められ、当会は支えられている。それに対し、若い世代の人たちの多くが、東庄町ボランティア連絡協議会の存在を知らなかったと答えている。そして、その若い人たちが当会の活動の第一に求めたものが、“PR や情報提供の拡大”である。このことは、当会のこれからの重要な課題として提供されたのだと受け止めたい。『知る』ことから、改善も進歩もあると考える。そしてこれを、これからのボランティア理解者の拡大につながる第一歩と捉え、若い世代の人たちの前向きな心意気だと受け止めた。災害や、緊急の助けの要るときには、きっと駆け寄り、“ボランティアをする側”になってくれる小さな町の力がここにあると感じた。若い世代とシニア世代の力の融合がこの町には来ると思う。

今回のアンケートを通し、諸々の間で前述のことが感じられる回答が多々見られたが、これからを見据え、当会とその活動とを町内にPRし、他組織や町当局と連携しながら、ボランティア活動の理解者を大切に育て、町民一人ひとりの日常生活に優しく機能するボランティア活動の運営を創意工夫しながら進めていく必要性を強く感じた。

ボランティア意識調査 協力団体・施設等

東庄町議会	東和田和楽会
教育委員	東今泉泉寿会
東庄町区長会	栗野山方老人クラブ
小見川交通安全協会東庄町支部	西長寿会
東庄町民生委員児童委員協議会	船場シニアクラブ
赤十字防災ボランティア東庄町地区協議会	西替地寿会
東庄町母子保健推進員協議会	東替地シニアクラブ
東庄町子ども会育成会連合会	竜神台アミーガ
東庄町青少年相談員連絡協議会	小座老人クラブ
東庄町杉の子サークル育成会	羽計台樺の会
東庄町ひとり親家庭福祉推進員協議会	平山シニア親和会
東庄町手をつなぐ親の会	宿の会
房総の会	栗野第一シニアクラブ
東庄ライオンズクラブ	御園上宿長命会
お茶の間教室	東庄デイサービスセンター
花園流真秀会	夢の庄デイサービスセンター
七花会	デイサービスたちばな
秀の会	特別養護老人ホーム竜神苑
おはなしボランティアたんぽぽの会	楽天堂和楽
石出桜の会	東庄町役場・東庄病院
東庄町商工会女性部	町内郵便局（東庄・石出・小南）
さわやかねっこの会	東庄町赤十字奉仕団
ひばりの会	東の里ぼんおどりの会
パイオニアG	東の風G G
さくら会	オカリナひなちゃん
すみれの会	東庄町立東庄中学校
東庄女性の会	東庄町立小学校（5校）
レインボーグループ	東庄町立幼稚園（笹川・橘）
白ゆりの会	神代保育園
芝桜の会	笹川中央保育園
千葉県生涯大学校東庄町校友会	J Aかとり東庄経済センター
よつ葉の会	東総用水土地改良区
東庄町観光ガイドの会	漬物研究会
東庄町シルバー人材センター	

ボランティア意識調査協力員・協力者

所属団体	職	氏名
東庄町ボランティア連絡協議会 副会長	協力員会長	山田 恒一
千葉県生涯大学校東庄町校友会	協力員	菅谷 寛
よつ葉の会	協力員	城之内典子
東庄町民生委員・児童委員協議会	協力員	高木 健
房総の会	協力員	林 千恵子
房総の会	協力員	長谷川三千子
羽計台樺の会	協力員	小林 良則
東庄町商工会女性部	協力員	鎌形 節子
東庄町ボランティア連絡協議会 会長		岩根 優子
東庄町ボランティア連絡協議会 副会長		林 澄枝
東庄町社会福祉協議会 事務局長		相馬 良男
東庄町ボランティア連絡協議会 事務局		菅野 梢

ボランティア意識調査報告書

発行日 平成31年3月
 発行 東庄町ボランティア連絡協議会
 (事務局：東庄町社会福祉協議会)
 千葉県香取郡東庄町石出2692-4
 Tel0478-86-4714 Fax0478-86-4188
 調査・分析 ボランティア意識調査協力員会



**ボランティアの要請を
お待ちしております**